

市議会だより



令和2年1月10日 一関市立松川保育園「餅つき繭玉ならし会」

- 12月定例会報告……………2~7
- 一般質問……………8~17
- 市民と議員の懇談会……………18~33

- 常任委員会活動報告……………33
- 議会運営委員会活動報告……………34
- 市民の声……………35

新たな会計年度任用職員に関する条例の制定
新たな指定管理者の指定など



議案審議

審議した主な案件は次のとおりです。

条例の制定、改正

○議案第85号 一関市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員の給与等に関し必要な事項を定めようとするもの。

【質疑】 従来の制度や職員のあり方はどのように変更になるのか。

第72回一関市議会定例会を、12月3日から12月13日までの11日間の会期で開催しました。

この定例会では、条例の一部改正、令和元年度一般会計補正予算、農業委員1人の任命、指定管理者の指定など市長提案議案は全て可決、承認、同意をしました。

委員会発委では2件を原案のとおり可決、議員発議では2件を原案のとおり可決、1件を否決しました。

一般質問には17人の議員が登壇し、市政課題について活発な議論を交わしました。

なお、この定例会には、大東高校の1年生77人がクラス毎に3日間の一般質問を傍聴しました。このような機会をとおして将来の有権者である高校生にも議会への関心を高めていただきたいと思います。

【答弁】

現在の臨時・非常勤職員の任用形態は非常勤特別職、期限付臨時職員、日々雇用職員、非常勤一般職の4つになっている。大きく変わる点は、特別職の任用については専門的知識や経験などに基づき、助言、調査等を行うものに厳格化する。臨時的任用職員の任用については常勤職員に欠員が生じた場合に厳格化する。新たに会計年度を超えない範囲

内でおかれる会計年度任用職員の制度を創設し、任用、勤務規律などの整備を図り、勤務時間が常勤職員に比べ短い短時間会計年度職員には報酬を支給するとともに期末手当を支給する。勤務時間が常勤職員と同じフルタイム会計年度任用職員には給料を支給するとともに期末手当の他、各種手当を支給する。当市においても令和2年度から一部の職を除き会計年度任用職員に移行する予定としている。

【質疑】 現時点における臨時・非常勤職員の人数は。

【答弁】 臨時・非常勤職員的人数は、本年6月1日時点で消防本部及び藤沢病院を除



き837人で内訳は期限付臨時職員が190人、非常勤一般職が414人、勤務時間の定めがある非常勤特別職が233人。勤務時間の定めがない非常勤特別職については、本年12月1日時点となるが、行政区长、保健推進委員、農林連絡員などで約7000人となっている。

質疑 令和2年度に見込まれる会計年度任用職員の人数と給与は。

答弁 現時点の臨時・非常勤の職が令和2年度も設置されるものと仮定した場合、現在の約800人と同程度の人数になると捉えている。給与の総額は、現在各部署において調整しているが、概算でおよそ14億円程度になるものと見込んでおり、財政への影響額は、1億円から2億円程の増になるものと見込んでいます。

質疑 今回、会計年度任用職員を新たに募集するが、任用にあたって注意する点があれば伺う。

答弁 採用方法については、面接試験、書類選考を想定しており、本人の資格、能力を確認し、採用の判断を行う。

採用後は宣誓書の提出や人事評価制度などの対象となる。会計年度任用職員の移行により一般職の職員と同様に地方公務員法上の懲戒処分の対象となる。

(賛成満場により可決)
○議案第86号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴い、関係する条例の規定の整備をしようとするもの。

(賛成満場により可決)
○議案第87号 一関市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について

商法の改正に伴い、引用している規定を削除するほか、非強制徴収債権の放棄事由に相続人全員が相続放棄をした場合、または相続人が存在しない場合を追加するなど所要の改正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)
○議案第88号 一関市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について

令和2年3月末日をもって唐梅館キャンプ場を廃止し、同年4月に東口体育館を新たに設置するため、所要の改正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)
○議案第89号 一関市へき地保育所条例を廃止する条例の制定について

令和2年3月末日をもって市野々保育園を閉園することに伴い、条例を廃止しようとするもの。

(賛成満場により可決)
○議案第90号 一関市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

災害弔慰金の支給等に関する法律などの改正に伴い、償還金の支払猶予、償還免除等の規定について所要の改正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)
○議案第91号 一関市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の改正に伴い、複数の建築物に係る計画の認定申請に対応できる手数料とするため、所要の改正をしようとするもの。

（賛成満場により可決）
○議案第92号 一関市下水道事業等に地方公営企業法の規定の全部を適用することなどに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

令和2年4月から下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することなどに伴い、関係する条例の規定の整備をしようとするもの。

質疑 企業会計を取り入れることで、市民にとってのメリット、デメリットはどのようなのか。

答弁 長期的な経営見通しに必要な財政状況を的確に把握、分析することにより将来にわたって持続的かつ安定的にサービスを提供し続けていくことがメリットであり、市民の皆様にとつてのデメリットはないものと捉えている。

（賛成多数により可決）
○議案第93号 一関市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関

する法律の施行に伴い、消防団員の欠格事項から成年被後見人または被保佐人を削除するなど、所要の改正をしようとするもの。

質疑 消防団員の定数を今後どのように捉えているのか。

答弁 人口に対する消防団員数の比率は昭和50年代から2%を維持している。これを一関市の人口ビジョン独自推計データに当てはめると、2030年は人口9万2868人に対して団員数は2043人となる。2040年には人口7万5056人に対して1651人という推計はできるが、地域防災力を維持するためには引き続き消防団員の確保に努めなければならない。

（賛成満場により可決）
○議案第168号 一関市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

岩手県人事委員会が勧告した岩手県職員の給与改定に準じて給料表を改定しようとするもの。

（賛成満場により可決）

○議案第171号 一関市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

職員によるたび重なる酒気帯び運転などの非行に関し、市政の最終責任者としての市長自身の責任を明らかにするため、令和2年1月分の給料の100分の50を減額しようとするもの。

質疑 具体的に職員に対してどういう対策をとるのか。

答弁 懲戒処分等の規程内規、公表基準の改正を行い、公表を従来の部局、機関までから課等まで公表することにしました。また、飲酒運転をしない・させない誓約書の提出、職員を対象とした交通安全講習会を開催することにしました。

（賛成満場により可決）

補正予算

○議案第94号 令和元年度一関市一般会計補正予算第5号の専決処分について

台風19号により発生した災害の復旧等に係る経費について、令和元年度一関市一般会計補正予算第5号を専決処分したもの。

質疑 公立学校施設災害復旧費の中に新沼小学校、舞川中学校とあるが、どのような災害だったのか。

答弁 新沼小学校については屋内運動場の南側ののり面崩落の復旧工事。

舞川中学校においてもプール脇ののり面崩落の復旧工事。

質疑 被災箇所は調査済みか。

答弁 農業用施設、農地の査定については、12月11日から25日に、林道関係は12月19日に行う予定。12月16日の第3次査定から12月26日で完了する第4次査定で当市に係る査定が完了する見込み。

（賛成満場により承認）

○議案第95号 令和元年度一関市一般会計補正予算第6号について

野生動物侵入防止緊急支援事業補助金の追加について、所要の補正をしようとするもの。

（賛成満場により可決）

○議案第169号 令和元年度一関市一般会計補正予算第7号について

代替粗飼料確保対策事業費

補助金及び小規模農地等災害復旧事業費補助金の追加、並びに一般職の職員の給与改定等に伴い所要の補正をしようとするもの。

（賛成満場により可決）

農業委員会の委員の任命

農業委員会の委員の任命について満場で同意した。



藤原美喜男 氏 (61歳) 室根町折壁

専決処分

※専決処分：地方自治法(昭和22年法律67号)第179条第1項の規定により、特に緊急を要するため議会を招集する時間がないことが明らかである事項について首長(市長)の判断で決定すること。

○報告第14号 物損事故に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第15号 自動車事故に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

その他

○議案第166号 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方

公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更に関する協議について

令和2年3月末日をもって盛岡市・矢巾都市計画事業等組合が解散することに伴い、岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めめるもの。

（賛成満場により可決）
○議案第167号 岩手県市町村総合事務組合の財産処分に関する協議について

令和2年3月末日をもって盛岡市・矢巾都市計画事業等組合が岩手県市町村総合事務組合から脱退することに伴い、退職手当の支給に関する事務に係る財産処分の協議に関し議決を求めめるもの。

（賛成満場により可決）

請願審査

○請願第6号 私立教育を充実・発展させるための請願

請願者

私立学助成をすすめる岩手の手

会 会長 土屋 直人

（賛成多数により採択）

意見書

可決した意見書については関係機関へ送付しました。審議の結果は次のとおりです。

※発委：委員会からの提案

※発議：議員からの提案

○発委第3号 私立学助成の充実を求める意見書について

提出者

教育民生常任委員長

（要旨）

千田 恭平

私立学校は公教育の一翼を担い学校教育の充実発展に寄与しているが、経営基盤は厳しく保護者の学費負担は家計を大きく圧迫している。生徒一人当たりにかける教育費が公立学校と比べて低いことが教育諸条件が改善されない大きな要因になっている。こうした状況の中で教育条件の維持、向上と保護者の経済的負担の軽減を図るとともに過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私立学助成金をさらに充実することを求める。

（賛成満場により可決）

○発委第4号 国が公表した公立・公的病院の再編・統合が必

要な病院について撤回し再考を求める意見書について

提出者

教育民生常任委員長

（要旨）

千田 恭平

本年9月に厚生労働省は再編・統合が必要な王国の公立・公的病院424を唐突に公表した。当市の藤沢病院もその対象とされたが、経営状態も良好で自治体優良病院総務大臣表彰の実績もあり、地域包括ケアは先進的で国会でも紹介された地域に不可欠の病院である。よって今次の考えを撤回・再考し、検討にあたっては、地域の実情や病院の果たしている役割などを充分に考慮し、地域住民や関係者への説明や理解のもとに慎重に取り組むよう求める。

（賛成満場により可決）

○発議第9号 東北電力女川原子力発電所の再稼働に対する意見書について

提出者

藤野 秋男

賛成者 金野 盛志

（要旨）

女川原子力発電所2号機

が、再稼働に必要な新基準に適合すると認められた。この

2号機は東日本大震災で外部電力5系統中4系統が遮断し、原子炉建屋の地下が浸水するなど深刻な事態だった。再稼働には、牡鹿半島の住民から避難計画への疑問もでている。当市も福島第一原子力発電所の事故によって、今日も除染や補償問題で対応している最中である。そこで、今後の存続の是非を含め再稼働には慎重に対応するよう求める。

（賛成多数により可決）

決議

○発議第8号 規律保持を求める決議

提出者 金野 盛志

この1年間に、飲酒にかかわる市職員の不祥事が続発、加えて、飲酒に伴う窃盗未遂事件が発生し、市民の市政に対する信頼を失墜させたことは、極めて遺憾である。

市政全般をチェックする市議会としても、看過できない状況であると捉えている。

公務員は法を遵守することが求められており、こうした

点からも市民の負託に応えることが求められている。

こうした不祥事を起こさないために、職員の自覚を促すことが必要ではあるが、組織として再発防止のために、全ての対策を講じて、市民の負託に応える規範意識を確立することを求め決議する。

指定管理者の指定

令和2年4月1日から表1のとおり施設の指定管理者を指定することとした。

質疑 4月1日以降に残っている施設の指定管理化へ向けて、見通しはどうか。

答弁 現在34の市民センターのうち19が指定管理者制度を導入しており、令和2年度からは23になり、市の直営施設は11となる予定。指定管理を行っていない地域協働体においては、現在、指定管理を行っている市民センターの視察や指定管理者制度導入に向けた勉強会などを開催して、理解を深めていただいているところであり、市としても引き続き各地域協働体の活動を支援していく。

（賛成満場により可決）

【表 1 指定管理者指定施設一覧】

指定管理者に管理を行わせる公の施設の名称	指定管理者となる団体	指定期間の満了日	新規・更新の別
一関市弥栄市民センター	弥栄地区まちづくり協議会	R7.3.31	新規
一関市弥栄市民センター平沢分館	弥栄地区まちづくり協議会	R7.3.31	新規
一関市油島市民センター	油島なのはな協議会	R7.3.31	新規
蝦島コミュニティセンター	油島なのはな協議会	R5.3.31	新規
一関市金沢市民センター	金沢ふるさと協議会	R7.3.31	新規
刈生沢コミュニティセンター	金沢ふるさと協議会	R5.3.31	新規
一関市松川市民センター	いわて松川やくにたつ会	R7.3.31	新規
徳田交流館	徳田地区住民自治協議会	R5.3.31	更新
コミュニティ体育館徳田ふれあいランド	徳田地区住民自治協議会	R5.3.31	更新
保呂羽コミュニティセンター	保呂羽地区自治会協議会	R5.3.31	更新
保呂羽コミュニティ体育館	保呂羽地区自治会協議会	R5.3.31	更新
大籠コミュニティセンター	第42区自治会	R5.3.31	更新
東口体育館	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	新規
一関水泳プール	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
花泉水泳プール	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
東山B&G海洋センター	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
藤沢B&G海洋センター	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
一関運動公園野球場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
東台野球場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
花泉運動公園野球場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
大東野球場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
千厩野球場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
東山球場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
室根野球場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
一関運動公園テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
花泉運動公園テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
花泉テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
清田テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
千厩多目的グラウンドテニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
東山テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
室根テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
川崎テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
藤沢テニスコート	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
一関運動公園陸上競技場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
一関運動公園多目的広場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
花泉運動公園多目的競技場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
大東グラウンド	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
千厩多目的グラウンド運動広場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
東山多目的グラウンド	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
川崎運動広場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
藤沢運動広場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
一関サッカー・ラグビー場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
萩荘サッカー場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
千厩多目的グラウンドサッカー場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
一関運動公園ソフトボール場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
千厩多目的グラウンドソフトボール場	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
一関市総合体育館	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
花泉体育館	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
花泉第二体育館	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
大東体育館	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
千厩体育館	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
東山総合体育館	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新
東山農村勤労福祉センター	一般社団法人一関市体育協会	R5.3.31	更新

市政課題で活発な論戦

第72回定例会の一般質問は12月5日、6日、9日の3日間、17人の議員が登壇し、活発な議論を展開した。なお、内容については各議員の文責である。

12月5日(木)

永澤 由利 議員

- 1 台風19号の検証について
- 2 プラスチックごみ・ペットボトルごみの現状について
- 3 児童生徒の月経関連疾患への対応について

佐藤 雅子 議員

- 1 教育課題について
- 2 台風19号を振り返っての課題について
- 3 空き家対策について

岩淵 善朗 議員

- 1 頻発する異常気象災害(台風19号関連)の対応について

石山 健 議員

- 1 防災対策について
- 2 地域経済対策について

小岩 寿一 議員

- 1 防災、減災対策について
- 2 安心安全なまちづくりについて
- 3 商店街の活性化について
- 4 保健福祉について

武田ユキ子 議員

- 1 防災行政(台風19号対応、非常備消防)について

12月6日(金)

菅原 巧 議員

- 1 安心・安全なまちづくりについて
- 2 委託契約の現状について
- 3 がん患者に対する支援策について

佐々木久助 議員

- 1 地域間交流事業の現状について
- 2 農業振興の現状について

金野 盛志 議員

- 1 災害時の情報伝達について
- 2 職員の規律保持について
- 3 奨学金制度について

菅野 恒信 議員

- 1 市内に設置している太陽光発電所に対する市の方針について

- 2 市の非常勤・臨時職員の任用について

- 3 市の最重要課題である雇用の確保について

岩淵 優 議員

- 1 子育て支援について
- 2 予防医療の促進について

那須茂一郎 議員

- 1 温暖化に伴う環境の変化と子供たちの将来について

12月9日(月)

佐藤 幸淑 議員

- 1 水害対策と砂鉄川周辺整備について
- 2 公共施設マネジメントについて
- 3 スポーツ振興からの交流人口拡大について

門馬 功 議員

- 1 幼児教育・保育の無償化について
- 2 タイムライン(事前防災行動計画)について
- 3 国民健康保険藤沢病院の統合・再編問題について

岡田もとみ 議員

- 1 就学援助制度の拡充について
- 2 学校給食費の値上げ問題について

佐藤敬一郎 議員

- 1 防災行政無線の難聴対策について
- 2 消防用水利等について
- 3 観光行政について

藤野 秋男 議員

- 1 農業被害に対する支援策について
- 2 ごみ減量対策について

次のページから各議員の
※QRコードをカメラ付き携帯電話で読み取ると、一般質問の様子をご覧いただけます！

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。





永澤 由利 議員

- 台風 19 号災害の検証は
- プラスチック類ごみの減量化を
- 児童生徒の月経関連疾患への対応は

情報伝達の機能が発揮できたか。

質問 今回の災害の検証は市民の安全、安心を守る上で重要な要素になる。どのように考えているのか伺う。

答弁 台風19号に係る情報伝達手段として、屋外広報マスト、FMあすも専用ラジオの自動起動、緊急速報メール、それから広報車や戸別訪問、それぞれの伝達手段の特性を生かして複数の手段により行ったところであり、改善の必要があるものについては運用を見直しするよう指示をしたところ。

質問 避難所開設の状況対応が適切であったか伺う。

答弁 避難所の開設数は、市全体で37カ所、避難者数は683世帯、1272人となっている。浸水想定区域内における自主避難所の開設は、見直したいと考えている。

質問 避難所指定されている関が丘市民センターの駐車場の確保について伺う。

答弁 関が丘市民センターの利用者は、苦慮している状況であり、駐車場候補地の調査に向け



台風 19 号で氾濫した銅谷川

た具体的な検討を行っている。

質問 プラスチック類のごみ強化策は。

質問 集団回収事業対象品目に加えることで、燃やすごみの減量化になると考えるがいかがか。

答弁 状況を見ながら、検討していく。

質問 女性特有の病気への学校現場での対応、小中学校で児童生徒のうちから正しい知識や相談できる体制などが必要と考えるが現状は。

答弁 月経関連にかかわらず、体の不調や悩みに対する相談には、養護教諭など女性教職員を中心に学校それぞれで相談体制を整えて随時対応している。

一般質問

- 教育にかかる現状と対策
- 台風 19 号を振り返っての課題



佐藤 まさこ 議員

質問 不登校児童生徒の現状と対策について伺う。

答弁 不登校児童生徒数は、平成30年度小学校35人、中学校95人であり、小学校は29年度0・30%に対し30年度は0・64%と2・1倍の増加。中学校においても29年度2・61%に対し30年度3・28%と1・3倍の増加であり、県内の小学校0・48%、中学校3・12%より高い出現率になっている。対策としては、学校全体で常に情報共有を図り、組織的に早期の対応を心がけている。

質問 連日報道されている大阪市の小学校6年生女子誘拐事件はSNSのメッセージの誘いだったという。当市の小中学校児童生徒の利用実態と課題は。

答弁 平日2時間以上インターネットを利用している児童生徒の割合は、小学校19%、中学校43%であり、平成29年度と比較すると小学校は7ポイント、中学校は10ポイント増加している。利用により睡眠時間が短くなるなど生活習慣に乱れが懸念される。被害等の防止取り組みとして情報モラルに関する授業

や外部講師による講演会を実施するなどの対策を推進している。

質問 東山小学校通学路である本町橋柴宿線の落石防止対策の進捗状況は。

答弁 本年度から令和2年度まで落石防止対策工事をする予定。

質問 台風19号を振り返り避難場所における要支援者に対する考えを伺う。

答弁 対応については、その現状に応じて、個別の配慮をする。要支援者が避難所で過ごすことが適切ではない場合、市内の福祉施設等を福祉避難所として開設することになっている。



スマホに興じる兄妹
時間を決めてほどほどにね

○ 頻発する気象災害の対応、対策



よしろう
岩淵 善朗 議員



質問 台風19号により15億余円の被害が出た。15時に災害対策本部を設置し、警戒レベル3の避難準備・高齢者等避難開始の発令がされ、自主避難所が設置された。さらに、16時に警戒レベル4で浸水の恐れのある市内14河川に避難勧告が発令。0時30分には千厩地区、同40分には黄海地区に避難勧告が発令された。自主避難所の中には水害時の受け入れが不可能とされる場所も開設された。その理由と食料・飲料水・人員の配置、応援体制を伺う。

答弁 浸水想定区域内の5施設は水害時の避難所には位置づけていないが、住民要望もあり、初期段階における自主避難所として提供し、危険な状況が想定されるときは早い段階で他の避難所に移すこととしている。水位の変化により避難先が異なることは住民の混乱を招くことから今後見直す。食料・飲料水は調理済みのものを地域の商店から調達し、避難所運営は市職員と指定管理者の職員で対応した。

質問 避難行動要支援者への避難推奨、支援はどう行われたのか。

答弁 避難支援関係者の調査によると64・8%の方が支援を行った。さらに要支援者からの聞き取り調査などを行い、迅速な避難支援のため、引き続き個別計画の作成を進める。

質問 市内14の中小河川に避難指示・勧告が出された。大河川の整備は進んでいるが、中小河川の整備が喫緊の課題ではないか。

答弁 県管理河川の整備促進を要望する。市管理河川は集落のある個所、緊急性を優先しながら、堆積土砂の撤去や崩落個所の補修対策を実施していく。



台風19号

○ 防災対策は
○ 地域経済対策は



けん
石山 健 議員



質問 防災対策上最も重要な役割を果たしている消防屯所の整備の実態はどのようになっているのか。

答弁 消防屯所は173棟であり、合併後に46棟の新築、増築を行ってきた。今後も同様に整備していく。

質問 年間の整備数が3〜4棟では少なすぎ、整備率を引き上げる必要がある。特に若い団員を確保する立場から、屯所の整備が必要ではないか。

答弁 新築に向けた用地購入や造成工事なども同時に行っており、実質6〜7棟の事業を展開しているところで、懸命に取り組んでいる。

質問 消費税10%への引き上げの影響で地域経済、特に地元零細事業者の実態をどのように捉えているのか。

答弁 市内の経済状況を市が実態調査した結果、食料品を扱っている事業者は、税率の変更がなかったため変わりはない。日用品や衣料品を扱っている事業者の半数は、駆け込み需要の反動で減少に転じた。青果物を扱っている事業者は、個人

購入が減少した。飲食店は今のところ増税の影響はないと回答している。

質問 小規模な公共工事の発注にあたって、どのような発注を行っているのか。

答弁 小規模な公共工事に限らず、市が発注する公共調達については、雇用の確保、地元経済の活性化への影響を踏まえて、地元企業優先発注に係る基本方針を定め、地元企業の受注機会の確保に努めている。

質問 できる限り市内業者への発注が行き渡るよう、どのように配慮しているのか。

答弁 市内業者等を優先するよう通知を出している。



いまだ整備が行き届かない消防屯所



ひさかず
小岩 寿一 議員

- 消防団員確保のための補助制度の創設は
- 商店街、小中学校への防犯カメラの設置は
- 子育て世代に市のごみ袋の無償配布を

質問 消防団員確保のために、準中型自動車免許の取得の補助制度を設けてはどうか。

答弁 経験の浅い団員が消防車両を運転することはなく、現時点においては消防団活動に影響を及ぼすものでもなく、緊急性は低いものと考えているが、将来的な課題として捉えている。

質問 安心・安全なまちづくりの実施に向けて商店街に防犯カメラを設置する考えはないか。

答弁 本年度から盛岡市において町内会などを対象とした防犯カメラの補助制度を設けたとの情報を得ているが、当市と同規模の県内他市においては、防犯カメラの設置への支援の動きは見られない。今後引き続き検討していく。

質問 小学校、中学校への防犯カメラの設置の考えは。

答弁 小中学校における今後の防犯カメラの設置については、児童生徒の安全面と防犯に対する抑止力の両面から検討している。児童生徒の安全管理を図っていくため、校舎内に死角が生じてしまう場合には、補助的に防犯カメラを設置して参りたい

と考えている。犯罪抑止機能に着目して、今後、一律に設置することについては、他市町村の動向を見ながら研究していく。

質問 J R 一ノ関駅構内の東西自由通路の現在の検討状況は。

答弁 現状では、J R との意見交換の段階である。

質問 子供が生まれた世帯に市のごみ袋を無償配布したらどうか。

答弁 全国的には無償配布している自治体もあるが、当市における保護者のニーズを把握しながら、無償配布も含めた負担軽減を検討して参りたい。



一ノ関駅東口通路

一般質問

- 台風 19 号の対応・課題・今後の対策は
- 学校施設整備計画の進捗状況と安全対策は



ゆきこ
武田ユキ子 議員

質問 台風 19 号の想定規模は。

答弁 気象台の情報をもとに河川の氾濫、低地での浸水、土砂災害、強風等の影響を想定した。

質問 ハザードマップで浸水想定区域内とされ、今回は避難勧告が発令された三関のサン・アビリティーズ一関や中里、山目市民センターを避難所として開設したことは、想定規模からしてもあり得ない。危機感のずれを感じざるを得ないが、対策本部でどのような議論を経たのか。今後の対応は。

答弁 住民の要望等を考慮した。水位の上昇や避難勧告を出すような状況になった場合は移動することとして開設した。今後は浸水想定区域内における自主避難所の開設は見直しを行うこととし、一関市防災会議で委員から意見を伺うこととしている。

児童生徒の安全対策を最優先に

質問 興田中学校の旧校舎（現在物置）は築 57 年が経過し、業者によると「2 階の床は抜けて、いつ倒壊してもおかしくない」とのこと。統合も視野に検討との事だが、時期は不確定であり、

安全が担保できるのか。即刻解体するよう求めるがいかか。

答弁 昨年度以降窓ガラスを修繕、危険箇所にはロープを設置した。物の出し入れの際は教師が付き、2 階は出入りしておらず、当面部分的改修で対応していく。

質問 築 55 年の一関小学校、築 59 年の中里小学校の施設整備計画の進捗状況は。

答弁 長寿命化改良も検討しながら、令和 2 年度末までに小中学校施設整備計画を策定したい。一関小学校、中里小学校は、今後耐力度調査を行い計画的に対処していくことが必要であると考えている。



傷みが激しく倒壊などが懸念される興田中学校旧校舎

○ 汚染稲わらの管理実態は
○ 市の委託料の契約状況は
○ 進捗状況の報告を



菅原 巧 議員



質問 放射能8千ベクレル以上で汚染された稲わらを保管しているビニールハウスのビニールの耐用年数が過ぎているものが各地域にあると思う。その実態について伺う。

答弁 放射性物質に汚染された稲わらの一時保管施設について、地域別では、現在、一閑地域4カ所、花泉地域12カ所、大東地域1カ所、千厩地域6カ所、室根地域1カ所、川崎地域2カ所、藤沢地域5カ所の計31カ所で、これら施設については定期的に巡回して放射線量の測定、点検、環境整備を行い、機能維持に努めている。ビニールの経年劣化については必要に応じ補修や張りかえを行っていく。

質問 市の委託料のうち情報システム関連業務委託の契約状況について伺う。

答弁 情報システム関連業務委託のうち財務会計システムの支出負担行為での件数及び金額は合計221件で金額3億7281万円。そのうち入札は5件で1549万円、随意契約は216件で3億5732万円。



ビニールの張りかえが待たれる汚染稲わらの保管施設

質問 随意契約が多いが、人口同規模の市との比較はあるのか。

答弁 内部情報システムについては価格交渉をしている。他県の同じ規模の市との比較はないが、研究したい。

質問 空き家対策でD区分に分類され崩壊しそうな危険箇所を市に話しても回答がないとの指摘がされたが、進捗状況の報告が必要ではないか。

答弁 倒壊の恐れがあるなど著しく危険な状態で放置することが出来ないことから、市の空き家対策協議会で意見を聞きながら検討したい。状況報告については今後進めていく。

○ 地域間交流事業の現状は
○ 西洋野菜の取り組みは



きゅうすけ 佐々木久助 議員



質問 旧市町村が取り組んだ地域間交流事業の現状を伺う。

答弁 旧室根村の友好都市である和歌山県田辺市と姉妹都市を締結し、産業連携も見据えた交流に取り組み始めた。オーストラリアのセントラルハイランズ市高校生と藤沢中学校生徒の相互交流については、平成29年度から全市的な取り組みとして展開している。他にも花泉地域における東京都新宿区の市谷小学校と金沢小学校との相互交流、大東地域における千葉県船橋市の千葉日本大学第一中学校と地域住民との相互交流、室根地域における埼玉県吉川市と室根地域の小学生との相互交流などがあるが、少子化に伴う参加者の減少や児童生徒を受け入れることのできる家庭の減少など、課題も多くあり、千厩地域で実施していた東京都台東区との相互交流は平成28年で、東京都世田谷区との相互交流であるPAL交流事業についても平成29年度で事業を終了している。

質問 担い手に特化した振興策だけでは農地利用に限界がある。担い手以外の農業者にも生産に関わってもらう必要があるのではないか。例えば、南部農業技術開発センターで研究されている西洋野菜を実用化に向けて展開する考えがないか伺う。

答弁 南部農業技術開発センターで平成29年度から若手農業者、市内の野菜ソムリエ、JAなど関係機関と連携しながら西洋野菜の産地化に向けた検討を進めている。栽培普及セミナーや西洋野菜の栽培暦のよいうなものをつくり、定年帰農者や小規模農家の方々にも取り組んでいただけるようなことも考えながら検討を進めていきたい。

質問 担い手に特化した振興策だけでは農地利用に限界がある。担い手以外の農業者にも



西洋野菜



金野 盛志 議員

- 災害時の情報伝達は
- 職員の規律保持は
- 奨学金制度と国籍との関係

災害時の情報伝達にFMあすもの自動起動を活かすべき

【質問】 災害時には、防災行政無線だけでは不十分であり、防災ラジオの自動起動を活かすべきと考えるが、台風19号の情報伝達の検証について伺う。また、停電の情報もマニュアルに追加すべきだと考える。

【答弁】 今回の台風19号に伴う情報伝達については、検証して改善を図る。ラジオの自動起動は、プッシュ型情報として有効なツールと認識しており、今回は時間帯を考えての自動起動となったが、今後その事案の内容等により、自動起動の可否を判断していく。なお、停電情報については、規模等を考慮して情報提供を行うよう改善する。

飲酒運転など職員の不祥事対策に万全を

【質問】 市職員の飲酒に伴う不適切な事案が連続して発生しているが、再発防止にどのように取り組む考えか。

【答弁】 今回の一連の事案については、市政の責任者として市民の皆さんにお詫びを申し上げる。職員には、公務員としての

自覚をもち、一丸となって信頼回復にあたるよう指示した。職員の処分基準の見直しについても、現在検討中だが、とれる対策を講じ、信頼回復にあたる。

外国籍市民の奨学金制度のあり方の改善を

【質問】 外国籍の方が、市の奨学金制度に申し込むことができない仕組みとなっており、同じ市民としてのサービスを享受できる制度に改正すべきと考える。

【答弁】 現在の制度では、結果として日本国籍でないと、活用できない内容となっており、早急に規則などの改正を行う。



情報徴収率 65.8%に留まっているFMあすも

一般質問

- 太陽光発電開発に対する規制は
- 区長や民生委員などの身分は
- 雇用確保に向けた企業誘致は



菅野 恒信 議員

【質問】 台風19号は5月に続いて敵美溪に被害をもたらしたが、付近の太陽光発電所工事の原因ではないのか。

【答弁】 工事関係者と会い、聞き取りをしたが、因果関係は認められなかった。

【質問】 萩荘栃倉南地区の市所有山林での太陽光発電所建設について伺う。貸与の契約を結んだと聞くが、いつ締結したのか。市や地域にどんなメリット・デメリットがあるのか。全国的に山林などに大規模な太陽光発電所建設が拡大され、住民とトラブルが起きていることから市町村が独自のルールをつくっている。一関市も検討すべきではないか。

【答弁】 賃貸借契約は10月10日に20年間の貸与期間で締結した。市のメリットは、土地の賃貸料、立木の補償費などがあり、デメリットは、木材販売の収益がなくなるなどがある。地域のメリットは、企業からの草刈りの雇用や、収益金からの地域振興があると考えられる。

【質問】 児童相談員・障がい者相談員などは現在、条例で特別職

として重要なサービスを担っているが、制度変更により身分・待遇がどうなるのか。また、区長・民生委員も特別職として市長から委嘱され、仕事をしているがどうなるのか。

【答弁】 現在の非常勤職員などは特別職ではなく、会計年度任用職員に移行する。区長・民生委員などは総務省では有償ボランティアや業務委託の事例を示しており、市では検討中である。

【質問】 企業誘致の現状は。

【答弁】 企業進出の情報には県に入るので、県と連携している。この10年間で、自動車関連中心に17社の新規立地があった。



北上製紙跡地活用で雇用は？

○ 子育て支援の強化は
○ 予防医療の促進は



岩瀬 まさる 議員



年度途中の待機児童の解消は

質問 年度途中の待機児童の推移と解消に向けた取り組み状況について伺う。

答弁 本年10月1日現在、国基準での待機児童は8人、前年同月と比較すると1人増という状態である。年度途中での新たな入所希望に対して、保育士の不足により入所人数を拡大できないことが理由である。年間

の保育利用の見込みを的確に捉えるとともに、年間で必要となる保育人材の確保に努める。
入所選考へのAIの活用は

質問 保育園等の入所選考にAIを導入し、保護者に対して選考結果を早く通知し、短縮した時間でサービス向上を行う考えがないか伺う。

答弁 AIを活用した入所選考は、本年度、実証実験を行った。その結果、選考時間を大幅に短縮できることが確認できたことから、来年度の導入に向けて研究している。

予防接種率の向上は

質問 初めて高齢者肺炎球菌ワクチンの接種対象となる65歳の方の接種率向上のために、

どのような取り組みを行っているのか伺う。

答弁 広報での周知と対象者へ個別に案内を送付している。

質問 人の行動や心理を分析する行動経済学の知見を生かす「ナッジ」と呼ばれる手法が注目を集めている。このナッジの手法を高齢者肺炎球菌ワクチン接種の接種率向上に生かす考えがないか伺う。

答弁 本年度初めて高齢者肺炎球菌ワクチンの接種対象となった65歳の方で、未接種の方に対して、ナッジ理論を活用した接種勧奨を行う。



一関市子ども・子育て支援会議

○ 温暖化を防ぐために



那須茂一郎 議員



質問 近年、相次いで台風などの災害に襲われた。日本ばかりではなく、世界中で気候変動が起こっていると言われている。この主たる原因が産業革命以来の急激な経済活動により、CO2をはじめとする温暖化ガスがふえ、気候の変動が起こっていると言われている。岩手県でも温室効果ガスという表現で、2050年までにゼロを目指す」と報道されている。一関市でも取り組み考えはないか。今、世界の多くの若い人たちが、大人の後始末を若者にさせるな」と行動している。

答弁 当市は総合計画において、低炭素社会の実現を掲げ、地球環境にやさしいまちづくりの推進、低炭素社会のシステムづくり、この2つの施策を推進している。具体的には森林の植林や間伐、下刈りなどの保育をし、二酸化炭素の吸収能力を高め、エコドライブの推進や公共交通機関の利用促進、廃棄物の減量や資源化の推進による焼却時の二酸化炭素の排出抑制、これらを推進している。

質問 ごみの新しい焼却炉の



雪の少ない今年の冬 温暖化の影響か？

建設候補地が学校の近くとされている。東京都日の出町の工コセメント工場の近くの学校では、ぜんそくの子どもの数が多いと報告されている。一関市の児童生徒の現在のぜんそく罹患状況について伺う。

答弁 児童生徒のぜんそくの患者数については、定期健康診断の結果からその数を把握している。平成30年度の患者数は、小学校全体では2.9%、中学校全体では1.8%となっており、5年前と比較すると、小学校では1ポイントの増加、中学校では横ばいとなっている。



佐藤 幸淑 議員

- 水害対策と砂鉄川周辺整備の状況は
- 公共施設マネジメントは
- スポーツ振興からの交流人口拡大は

質問 水害対策と砂鉄川周辺整備について伺う。

答弁 東山地域に設置されている砂鉄川内水処理施設は9施設あり、今般の台風では13日未明から稼働基準に達した施設を稼働させてきた。中通川の樋門の内水処理施設については、平成14年に整備されたゲートポンプが2台で毎分45立方メートル、本年2月に増設された水中ポンプが2台で毎分30立方メートル、この両方で排水能力を有しているところであり、台風19号の被害については、東山町松川地区の宅地への浸水はなく、平成25年7月の豪雨による降水時に比べ浸水範囲が大幅に縮小されており、増設した水中ポンプの効果があつたものと捉えている。

質問 公共マネジメントについて伺う。

答弁 当市では平成30年6月に公共施設等総合管理計画第1期中期計画を策定し、令和8年度までの9年間で市の施策として保有していく施設を見直すこととし、検討作業に着手している。今後の進め方について



松川地域内の内水対策が急がれる

では、市民との意見交換会で出された御意見を参考に施設の所管課職員で構成するプロジェクトチームにおいて、見直し方針の素案を検討させている。

質問 スポーツ振興からの交流人口拡大について伺う。

答弁 ライフスタイルの多様化に伴いスポーツに対するニーズは高まっていくものと考えている。スポーツを通じた交流は地域経済の活性化などの波及効果はあるが、あくまで二次的効果。交流人口の増加に着目しながらスポーツ振興、競技人口の増加、競技力の向上を図っていく。

一般質問



門馬 功 議員

- 保育無償化による市の負担は
- タイムラインの市民への周知は
- 国保藤沢病院の統合・再編問題

質問 保育関連施設の管理運営には多額の財源を投じているが、国の保育無償化によって市の負担がどのように変わったのか伺う。

答弁 保育料の軽減にかかる費用は、これまで全額市が負担していたが、無償化により国、県も負担することになり市の負担は少なくなった。一方で、これまで保護者が負担していた保育料についても同様に、市でも負担することになり、新たな財政負担が生じることになったが、試算では市の財政負担は6千万円ほど軽減される見込みである。

質問 タイムラインは、風水害や遠地津波など災害発生まで長期にわたり、事前に災害規模が想定される災害に有効な防災行動計画であるが、どのように市民へ周知しているのか伺う。

答弁 タイムラインに基づき、市民や自主防災組織がとるべき行動について、消防・防災セミナーなどの機会を通じて周知を図っている。今後においても具体的な事例を掲げながら早目の事前行動がとれるよう周知に努める。



藤沢地域の医療を担う国保藤沢病院

質問 厚生労働省は統合・再編を要する公立病院等の病院名を公表したが、この中に国保藤沢病院が含まれたことをどのように捉えているのか伺う。

答弁 厚生労働省に再編・統合を強制する権限があつてのものではない。再編統合という部分が大きく報道され、地域に不安と混乱を生じさせたことは誠に遺憾であり、公表のあり方に大きな問題があつたと捉えている。藤沢地域唯一の医療機関として、幅広い医療機能を担っており、立地条件としても再編・統合の対象にはなりえないと考えている。

○ 就学援助制度の拡充を
○ 学校給食費の値上げ問題は



岡田もとみ 議員



就学援助の認定率向上を

質問 子どもの貧困は、家庭の経済的困窮が大きく影響する。一関市の市民所得は253万円で、県内14市の中でも10番目と低い。義務教育段階の子どもの貧困対策には、就学援助の充実がかなめの一つ。当市は、小学校7・88%、中学校10・80%と受給率が低い。どのように認定率を向上しようと考えているのか。

回答 就学援助制度の周知について、議員から紹介があった他市等の状況もいろいろ参考に、よい方法を検討したい。

質問 修学旅行費は概算払いで対応を保護者の大きな負担となつているのが修学旅行費の積立金。経済的に大変な家庭に対しては個別に概算払いの対応をしているが、そもそも就学援助の認定世帯であり、個別で対応するものではない。受給者全体の対応に変える考えはないか。

回答 旅行前に支給すると、参加できなかつた場合の返還等が発生することから、一律支給を制度化するのは難しいと考える。

質問 概算払いを保護者ではない

く、学校にすれば可能ではないか。

回答 本年度も概算払いの例はあつたが、学校の口座に入れることで、保護者の精算が発生しないような手続きをしている。

質問 学校給食費について、ご飯パン、牛乳の値上がり等により、来年度から増額する方針だが、市民所得の低さから値上げできる状況ではない。公費負担で充実する考えはないのか。

回答 現在の財政状況を考えれば、一部負担にせよ、食材費の公費負担に踏み出す段階ではないと考える。



就学援助制度のチラシ（沖縄県教育委員会）

○ 防災行政無線の難聴対策は
○ 消防用水利の整備状況は
○ 市の観光行政の役割は



佐藤敬一郎 議員



質問 防災行政無線の屋外広報マストからの放送が聞き取りにくい地域への対応策と高齢者等への伝達方法について伺う。

回答 現在までに363基設置され、全基可聴調査を実施している。平成31年4月現在で可聴世帯は市全体の80・7%となつた。伝達手段はマスト以外にFMあすも、防災行政無線で放送した内容を電話で確認できるテレガイド、市のホームページ等多様な手段を用いて発信している。緊急時の高齢者等への情報伝達は民生委員、行政区長にお願いしている。

質問 消火は時間との勝負であることから消火栓、防火水槽の整備状況について伺う。

回答 平成30年度までで消火栓が241基、防火水槽が95基の合計336基の整備を行った。

質問 旧市町村単位での消防水利の充足率について伺う。

回答 当市の充足率は今年4月1日現在で71・4%である。地域毎では一関地域88%、花泉地域80%、大東地域38%、千厩地域44%、東山地域64%、室根地域

97%、川崎地域92%、藤沢地域75%である。充足率が低い地域から優先的に整備するところであるが、地域住民や地元消防団の意見や要望を聞きながら計画的に整備を進めている。車両等の充足率は100%である。

質問 自然災害による観光イベントへの影響について伺う。

回答 台風19号により中止した一関・平泉バルーンフェスティバルの決算見込み額は、事前準備費用等で約900万円、全国ご当地もちサミットでは、約110万円の支出を見込んでいる。協賛金等で両イベントの決算見込み額は赤字にはならない。



市からの放送の難聴対策を早期に望む！



藤野 秋男 議員

○ 農地被害、復旧工事費の軽減を
○ ごみ減量リサイクル率の向上策は

質問 台風19号によって農地をはじめ、農業関係施設等に甚大な被害をもたらした。温暖化も影響してか、近年の被害は想像を超える状況でやってきている。農業情勢については依然厳しく、再生産費や人件費が少ないうちで、復旧をためらい休耕しようという声も聞こえてくる。これまでも荒廃農地がふえてきており、農地被害によって、耕作放棄地となれば、農業のみならず、地域経済にとっても深刻な影響をもたらすことが危惧される。

国は今回の被害を激甚災害に指定しており特別交付税によって当市の負担も大幅に軽減される。これまでも農家の果たしてきた役割とおかれている現状を考えると、農家負担を求めない復旧工事が必要ではないか。

答弁 被害額で上下するが、復旧工事費に対する補助率は96%である。残りを起債で対応し、受益者負担は0.4%であり、他産業に比べ高補助率で対応している。

質問 一関地区広域行政組合は一般廃棄物処理施設と新最終処



台風19号で被害を受けた水田

分場の候補地説明会を開催している。順調に進めば、来年度には一カ所に絞り7、8年後に稼働したいと説明している。焼却処理は灰も含め市民からは不安の声が出ている。しっかりと応えていくことが、施設建設にとっても重要であることから、ごみの減量や燃やさない処理についてどう検討していくのか。

答弁 ごみの減量化は焼却施設や最終処分場の負担軽減、長寿命化につながる。そのためにも、現在実施している施策とあわせ、令和2年度に新たな取り組みの検討を指示した。今年度中に構想を示したい。

一般質問

会議等出席状況

10月18日から12月末日までの定例会・常任委員会・特別委員会等について出席状況をまとめたものです。
数字の入っている項目が、各議員の所属している委員会です。

会議名	議員氏名	開催総日数	槻山隆	沼倉憲二	岩淵典仁	佐藤幸淑	永澤由利	小岩寿一	岩田ユキ子	那須茂一郎	門馬功助	佐々木久浩	佐藤良一	千田敬一郎	菅原巧	岡田もとみ	菅野恒信	千葉盛志	勝浦伸行	小田雄平	千田恭平	千田大作	小野道雄	橋本周一	藤野秋男	石山健	岩善朗	千葉幸男	佐藤雅子	
第72回定例会		5	5	5	5	5	5	5	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
総務常任委員会		2				2	2		2	2															2			2		
産業経済常任委員会		2	2	2								2	2					2				2			2					
建設常任委員会		3								3		1					3	3	3	2				3						
教育民生常任委員会		5		5				5						5	5						5	5					5		5	
議会報編集特別委員会		1		1		1				1	1	1		1			1	1												
ILC誘致・学術研究都市づくり調査特別委員会幹事会		1	1			1	1		0	1							1	1									1			
議員全員協議会		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2	2	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
議会運営委員会(議会改革)		5	5	5				5				5						5	5			5	5	5						
議会運営委員会		2	2	2				2	1	2		2						2	2			2	2	2						

今回の懇談会の開催に当たり、会場まで足を運び、さまざまなご意見をいただき感謝申し上げます。

今回は、一般市民を対象に市内8会場、学生を対象に7会場で開催、新たに、各常任委員会で関係する団体等を対象に4会場で開催、全体で19会場、222名の参加をいただきました。

12月には、市長に市政に反映するよう、次の項目について提言し、ご意見等の全文も送付しております。

議会としましては、今後、各委員会で調査、検討してまいります。

また、議会にいただいたご意見については、次回の議会だけで回答いたします。

【議員班編成】 ○は班長

1班	○橋本 周一	勝浦 伸行	小岩 寿一	菅原 巧	千田 恭平	千葉 大作	石山 健	岩淵 善朗
2班	○岩淵 優	小野寺道雄	永澤 由利	門馬 功	佐藤敬一郎	菅野 恒信	千葉 信吉	
3班	○佐藤 浩	藤野 秋男	岩淵 典仁	武田ユキ子	佐々木久助	千葉 幸男	佐藤 雅子	
4班	○金野 盛志	佐藤 幸淑	那須茂一郎	千田 良一	岡田もとみ	小山 雄幸	沼倉 憲二	

《市長への提言》

1. NECプラットフォームズ(株)一関事業所跡地の活用策、東西自由通路や商店街活性化など、総合的に検討を行うこと。
2. 災害時の避難所の場所、情報伝達、ハザードマップの見直し等の検証を行い、安全安心な地域づくりに努力すること。また、防犯カメラは、犯罪の抑止に効果があることから、その増設に務められたい。
3. 危険な空き家が増加傾向にあることから、一層の注力をする。
4. 高齢化の進展に伴い、医療費の抑制等のため、健康維持増進への施策の拡充強化をすること。
5. 地球温暖化防止の観点から、資源・エネルギー循環型まちづくり及びバイオマス産業都市構想を推進すること。
6. 生活道路、河道掘削などの社会資本整備を促進すること。
また、無堤防の解消や内水処理に取り組むこと。
7. 国や県の所管の道路や河川の社会資本整備を関係機関に強力に要請し、実現すること。
8. 市道等の整備済の用地の未登記処理を加速度的に促進すること。
9. 定住の促進のためには、雇用の確保が最重要であり、企業誘致をはじめ、雇用の確保に最大限の注力をする。
10. ILCの誘致においては、市民の不安の声に、真摯かつ丁寧な説明を行うこと。
11. 道路の案内標識について、外国人への対応を含めて見直しすること。
また、昨年開通した室根バイパスについて、交通安全対策が不備であり、検証のうえ対策を講ずること。
12. 公共交通施策の拡充強化を促進し、交通弱者の保護に努めること。
13. 医師や看護師、介護士の確保を強力に進め、地域医療の拡充強化を図ること。
14. 公共施設総合管理計画は、人口減少や高齢化の進行を踏まえた推進に努めること。
15. 指定管理となった市民センターが避難所に指定された場合、指定管理者の負担が増加にならない体制を構築すること。
16. 高齢者世帯の除雪対策を構築すること。
17. 東山町松川地区の石灰粉塵対策について、生活環境保全の観点から、市の積極的な指導等を行うこと。
18. テレビ共同受信施設組合のアンテナ動産保険料金の支援制度を創設すること。
19. FMあすもについて、市内で唯一の災害対応の情報ツールであり、利活用について検証を行い、安全安心な地域づくりを促進すること。
20. 保育士の確保を図り、入所希望者が入所できる体制を構築すること。



市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(一般市民)

一関市民センター 10月24日 参加人数13名(1班)

- ① NEC跡地は、駅前ロータリー、東西自由通路をつくるチャンスだ。商店街の活性化にもつながるのではないか。
- ② 議員定数の見直しは、議会の中で決められないので、他の組織をつくって決めたらどうか。
- ③ 東西通路実現のためには、署名運動など、全市民一丸となった熱意が必要だ。
- ④ 包括支援センターは民間の出先機関なので、医療関係には詳しいが、生活苦や地域で困っている人が相談する場所にはなっていないのではないか。
- ⑤ JR一関駅前から大町に防犯カメラがない。安心安全なまちづくりのために防犯カメラを設置してほしい。
- ⑥ JR一関駅前の一等地に商工会議所が必要なのか。なのはなプラザに移ればいいのか。
- ⑦ DMOと観光協会が向き合っているが、ひとつになってわかりやすくしてほしい。活用の仕方がおかしいのではないか。
- ⑧ 旧ふくはらデパートの活用を考えたらどうか。
- ⑨ 会議所から提案されている「町は公園」とのコンセプトについて、市から議会への説明はあったのか。
- ⑩ 空き店舗への入居を待つのではなく、行政が積極的に引っ張ってくるような仕組みをつくって商店街を活性化させてほしい。
- ⑪ 高齢者が病気にならない施策が必要。週1回でもいいので、家から出て何かに取り組めるような環境づくりが必要。
- ⑫ 水害時の避難所が不適切などところがある。ハザードマップなど見直す必要があるのではないか。
- ⑬ 中央町一丁目の浸水時にポンプアップする責任者は死亡している。関係機関に話して、責任者を決めてほしい。
- ⑭ 平常時における災害対策本部のあり方を議会でもチェックしてほしい。
- ⑮ 倒壊寸前の空き家が目立つ。安心安全の対策をつくってほしい。
- ⑯ ごみ焼却場問題はどうか。
- ⑰ 高齢化社会で社会の様子が変化してくる。これからできないことがふえてくる。議員は、5年、10年後のことを考えて、できること、できないことを決めて仕事をしてほしい。今、必要なことは何か、優先順位を考えて取り組んでほしい。
- ⑱ 一関市は健康への施策がほとんどない。医療費を下げるためにも、健康を中心とした施策を考えてほしい。
- ⑲ FMあすもが入らない地域はあるのか。若い人は携帯電話に緊急情報が入るが、高齢者は情報が入りづらい。
- ⑳ ILCでまちおこしはできるのか。今の財政で大丈夫なのか。

金沢市民センター 10月24日 参加人数11名(2班)

- ① 防災行政無線からいろいろな内容が何回も放送され騒音である。
- ② 栗原市金成町、若柳町のマストは肉声でわかりやすい。一関市はテープで同じことを繰り返すなどあまりよくない。他市の例を学んだらいいのではないか。
- ③ マストの場所選定は、集落の中心地区にするなど地元と相談すべきではないか。
- ④ 休耕田にごみを投棄していく人がいる、警察に言っても動いてくれない。市に言っても個人の問題と言って何もしてくれず困っている。
- ⑤ 支所に相談の電話をした時、職員の電話対応が悪かった。
- ⑥ ILC誘致は最初九州の背振山に決まりそうだったが、放射能問題で受け入れられず北上高地に決まった。市は反対意見を紹介していない。私は反対である。
- ⑦ 花夢パルは利用者が少ないのに遅くまで電気がついていて、グラウンドが使われていないのではないか。
- ⑧ 花泉運動公園のグラウンドは水はげがよく、スポーツ少年団などの練習が夜に熱心に行われている。
- ⑨ 焼却場建設について、焼却場の煙が野菜に降りかかると生育しない。新焼却場建設では気をつけてほしい。
- ⑩ 地球温暖化による災害がふえ、二酸化炭素を減らすことが重要である。市の資源・エネルギー循環型まちづくり、国のバイオマス産業都市指定を受けているが事業はどうなっているのか。しっかり検証してほしい。
- ⑪ 小学校統合の後、空き学校の活用はどうか。有識者の意見ばかりでなく地元の意見を聞いてほしい。

市民と議員の懇談会提言事項(一般市民)

- ⑫ プールは小中学生が利用するということだが、身長差があるので危ないのではないか。
- ⑬ 道路で刈った草を田や道路に置いていく。宮城県では縛って持ち帰るので参考にしたらどうか。
- ⑭ 大又地区には横断歩道がないので検討してほしい。
- ⑮ 市財政は悪化している。平成30年12月議会で議員が質問した行政改革、職員削減について異議があった。北上市と比較しても職員が多いし給料も国家公務員より高い。
- ⑯ 市債管理基金、財政調整基金についてどう考えているか。
- ⑰ 今の議員はもっと勉強をすべきである。
- ⑱ 担当課に聞けばいいような議員の質問が多く、やりとりが不十分である。
- ⑲ 「花と泉の公園」で市民フェスタが開催されたが、議員がほとんど参加していないし、市民への宣伝チラシも配布されていない。経営問題が言われているが、市はもっと情報発信をしてほしい。
- ⑳ 子供が帰郷したが、収入が少ない。農業を継がせようとしても年収が少なく生活できない。北上市のように企業誘致をもっと進めるべきだ。
- ㉑ 北上川狭隘地区である永井の大森地区、金流川小沼地区の改修計画が進んでいない。国や県の管轄であるが市でも要望してほしい。
- ㉒ 議員は長期に休んでも給料が出ているが就業規則はないのか。
- ㉓ 市民センターの臨時職員はボーナスもなく、勤務時間も変則で超過勤務手当も出ないと聞く。改善すべきではないか。
- ㉔ 私が救急車を呼んだ時、遠回りして時間がかかった。ナビにない近回りできる道路があるが知らないでいる。命がかかった搬送もあるので、地元を知っているような人事異動をもっと考えるべきではないか。
- ㉕ 広域的な人事交流は必要だが、ナビに頼らない道路事情を把握するなどの研修を考えるべきである。
- ㉖ 議員は反問権について理解しているか。
- ㉗ 町議会議員をやっていたが合併の時、人口減少予想の資料が出ていた。もっと早く対策をたてるべきだった。

興田市民センター 10月24日 参加人数8名(4班)

- ① 新ごみ処理場の建設に関して、奥州市との枠組みを脱退した理由は何か。また、議員はそれに対して、どのような行動をしたのか。脱退をとめることはできなかったのか。
- ② 新ごみ処理場は、川崎畑の沢地区に設けた方がいいのではないか。
- ③ 埼玉県川口市では焼却しない方法に取り組んでいる。視察に行くべきだ。
- ④ ごみを家の庭で燃やしていることについて去年も提言したが、改善されていない。議員は何を行動したのか。行政で対応してほしい。
- ⑤ 結婚活動支援をしているようだが、結果はどうなっているのか。
- ⑥ 市民と議員の懇談会の出席者が少ない。各議員の後援会の方々などに声を掛けて出席者をふやしてほしい。
- ⑦ 働き場がない。北上市や金ヶ崎町には企業が来ている。一関市はどの程度の誘致活動をしているのか。
- ⑧ ILC誘致決定はいつ頃になるのか。ILCが来なかった場合の責任はどうとるのか。
- ⑨ 紫波町のオガールみたいな特色ある取り組みをお願いしたい。
- ⑩ 一関市はどのような職業が発展すると思っているのか。既存の自営業もある。そして農業と林業が一番重要だ。どのように農業を発展させるか、米を高く買う施策などを考えるべきだ。
- ⑪ ILCに反対だ、最終処分場にされるのではないか。北海道では、核抜き条例があるのが、なぜ一関市は条例を出していないのか。議員は何をしているのか。
- ⑫ 一関市は産業開発をするべきだ。
- ⑬ NECの跡地を市で買うというがどうなのか。今後は人口が減るのに東口は必要ないのではないか。東磐井地区では決して必要としていない。NECの土地があれば税収が取れる。議員として意見を言うべきだ。議員提案をお願いしたい。
- ⑭ 災害時での情報伝達はどうなっているのか。広域になれば特に必要だ。全市で情報伝達ができる仕組みをつくる必要があるのではないか。
- ⑮ 興田市民センターの指定管理が否決された。老朽化の施設を現状のまま指定管理を受けるのは心配。また、人事の問題もあるので人事交流なども検討すべきだ。

市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(一般市民)

- ⑯ JR大船渡線と新幹線の乗り継ぎが悪い。
- ⑰ 市長に職員の管理をしっかりやってほしい。
- ⑱ 中小河川の整備が必要。特に曾慶川と砂鉄川の合流地点は無堤防となっている。
- ⑲ 議員は、市長や当局の回し者ではない。ぜひ議会がリードする体制をとってほしい。

一関市役所千厩支所 10月24日 参加人数22名(3班)

- ① 広域農道(藤沢~小梨)の表示板がわかりにくく、外から来る方への道案内に支障が出ている。表示板の設置をお願いしたい。
- ② 交通弱者への対応として、表示板は高齢者だけではなく外国人にも見やすいものが必要である。
- ③ バスは、買い物や病院に行く手段である。バスがなく買い物や通院に困っている。
- ④ 千厩小学校跡地の利活用はどのようになっているのか。
- ⑤ ILCに対しての報道が出ると、市長は一生懸命誘致に動いているが、議員の意向が不明である。どのように考えているのか。
- ⑥ マイバックの利用をもっと周知してほしい。
- ⑦ 県立千厩病院の医師、看護師不足への対応をしてほしい。
- ⑧ 市民と議員の懇談会は、施設等に出向くことも必要である。
- ⑨ 奥玉地区では砂利道がまだ多いので舗装整備してほしい。
- ⑩ 奥玉地区の沼で危ない箇所がある。
- ⑪ 宮田地区にリヤカーすら通るのが難しい道路がある。舗装の前に道の形すらない。旧千厩町時代に視察していただいたことがあるが、それ以降に進展はない。早期の道路建設を希望する。
- ⑫ 災害対策の取り組み強化について、3年前の台風10号、今年の台風19号は市では避難指示を出した。緊急避難のあり方も含めてゼロベースで再検証してほしい。
- ⑬ 災害対策に対して、一関市全体でワークショップをしてはどうか。
- ⑭ 台風19号で避難指示が出て避難所に行けない人がいた。避難所のあり方についても検証してほしい。
- ⑮ 千厩川では土砂が埋まっているため、改修を検討してほしい。
- ⑯ 地域防災計画は、今回の台風を想定していなかったのではないか。
- ⑰ 昨年の懇談会でも上げられたが、議会改革の取り組み状況について、特に議員定数についてはもっと削減すべきである。定数は盛岡市について2番目である。盛岡市、遠野市では削減をした上で選挙をしている。
- ⑱ 緊急メールがたくさん送られてきたが、自分の地域以外の情報もあり、うるさかったので、情報を送るエリアを検討してほしい。
- ⑲ 災害に対しては、命に関わる意味で情報は必要である。
- ⑳ 災害対策の対応について、公文書で残してほしい。
- ㉑ ILCについて、一関市を含めて北上高地に誘致してほしい。
- ㉒ 一関市では、子供達にILC教育をしているが、誘致に至らなかった場合、心のショックがあるのではないか。そのときは、責任はどうするのか。
- ㉓ ILCは、放射能の最終処分場となるのが心配である。
- ㉔ ILCで、トリチウムの処理策は十分なのか。
- ㉕ 懇談会の日程設定を生産人口の人達も参加できる日程で検討してほしい。
- ㉖ 小梨市民センターは避難所になったが、職員の負担がプラスになった。職員の処遇を見直してほしい。
- ㉗ 公共施設等総合管理計画について、人口減少、高齢者率が急激に進んでいる。30年後を考えると大幅な検証が必要ではないか。
- ㉘ 計画はマイナス思考だけである。議員にはもっとプラス思考の政策提言をしていただきたい。
- ㉙ 以前にはあった子供達の交流事業が何の理由かわからないがなくなった。
- ㉚ 努力義務であるが、公文書館が東北にはまだない。検討してほしい。
- ㉛ 避難場所が以前は奥玉小学校であったが、現在は奥玉保育園になった。
- ㉜ 廃棄物処理施設の関係は、地域の理解を得て進めてほしい。
- ㉝ ごみの分別方法が東と西で異なる、新しい施設では統一してほしい。
- ㉞ 県の管轄であると思うが、森林県民税は森林環境譲与税が始まって、継続してほしい。

市民と議員の懇談会提言事項(一般市民)

③⑤	高齢化で維持管理が難しいので、公営墓地を建設してほしい。
③⑥	ＩＬＣの工事によって濁水した場合は補償されるのか。
③⑦	ＩＬＣで莫大なお金がかかるが、違う事に使った方がいいのではないかな。
③⑧	土地の問題について、清田地区、国道 284 号線から奥玉地区への道路と工事図面が違う。30 年たっても直っていない。どこが赤線なのか不明でトラブルになっている。
③⑨	登記簿の問題として、私有地が道路となっているなど、古い図面で直っていないところがたくさんある。
④⑩	平成 24 年頃に国道 284 号線の道路河川を改修したが、その結果、5メートルの道路幅がなくなった。
④⑪	河川の管理をきちんとしてほしい。
④⑫	防災の避難指示について、障がい者に避難指示を伝えましたが、移動が大変、体調を考えると難しい。
④⑬	「花の駅」について、朝 6 時頃から夜までに車が 10 台程駐車している。千厩町テニスコートでテニス大会があると「花の駅」に駐車するが、駐車スペースがない。
④⑭	「花の駅」について、停止ラインや看板が見えにくい。舗装してもっと駐車できるようにしてほしい。
④⑮	千厩町テニスコートと道路向かいの駐車場の横断が危険なので、清田地区の橋の下から国道 284 号線の取り付け道路を改善してほしい。
④⑯	高齢者の方に免許の返納をお願いしたため、冬場の雪かきのトラクターも運転できなくなった。福祉の充実を考えてほしい。
④⑰	千厩川にごみがたまっている。
④⑱	洪水防止のために管理してほしい。
④⑲	自転車で移動する時に、車道と歩道に段差があるのでスムーズにしてほしい。
⑤⑩	警報について、段階的ではなく、最初からレベル 4 にして対応した方がいいのではないかな。
⑤⑪	千厩市民センターから公園に通じる市道のカーブのところにあるクルミの木が古くなってきていて危険なので切してほしい。
⑤⑫	側溝が草であふれている。いつ処理できるのか。
⑤⑬	県立千厩病院の診療科が休診となっている。医師の確保をしてほしい。
⑤⑭	今後、高齢者がふえてくる。高齢者の雇用の場をふやしてほしい。
⑤⑮	ふるさと納税額について、矢巾町が岩手医科大学の移転に関連してトップ、一関市は 24 位で 1,400 万円となっている。行政の魅力がないのではないかな。
⑤⑯	小学校の跡地利用について、小梨小学校の跡地が特別養護老人ホームの利用になった。小梨小学校よりも仮設住宅跡地を利用した方がいいのではないかな。
⑤⑰	一関有機肥料センターが指定管理となったが、市直営にしたほうがいいのか。
⑤⑱	営農センターは、川崎地域で一括してほしい。
⑥⑩	沿岸部との距離間が短くなってきて、西よりも東の雇用が必要である。
⑥⑪	千厩小学校と中学校の間の道路の安全対策をしてほしい。
⑥⑫	財政が厳しい中、建物、人が削減されている。その時に市民福祉増進のため、必要な事は残してほしい。
松川市民センター 10月24日 参加人数 13名 (3班)	
①	水害について、3年前には台風 10 号、今年の台風 19 号、台風が強大化している。地球温暖化が影響していると思う。気候が変動している。天災ではなく人災だと思う。CO ₂ を減らす必要がある。
②	一関市として気候非常事態宣言を発令してほしい。
③	温室効果ガスは脱石油、脱石炭の脱炭素を目指す宣言をしてほしい。
④	再生可能エネルギーの普及、促進を図ってほしい。
⑤	自伐型林業を促進してほしい。
⑥	松川 7 区の寺院の上の方に 6 件ほど家がある。山の水も利用しているが、各家庭で給水している自家水が雨がたくさん降ると水が濁る。
⑦	県道のカーブ道で車の事故が多く、家の水槽や標識が壊れている。対策が必要。
⑧	生活環境について、松川地域の石灰鉱山のダイナマイトの振動と衝動がある。
⑨	松川地区野平の道路はホコリと石灰で真っ白で、空気も汚い。東山支所や企業に要望して幾分よくなったがまだまだ不十分だ。

市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(一般市民)

⑩	地域の防災について、防災無線が全く聞こえない。
⑪	冬場で雪が10センチメートル程度積もらないと除雪車がこない。家の前が坂なので怖い。
⑫	台風19号時に警戒レベル3で避難勧告が出たが、避難所まで行く手段がなかった。
⑬	避難所について、前は松川市民センターであったが、滝の沢スポーツセンターに変更となった。遠くなってかえって危険だと思う。
⑭	堤防ができて台風の時には助かったが、バイパス道路ができると待っているがまだできない。早くバイパスをつくってほしい。
⑮	地域の盛り上がりとして、田んぼで「どろんこバレー」をしている。目を大切にしましょうと言いながら、「どろんこバレー」は衛生面で心配である。「日本一の海苔巻づくり」も意味がわからない。
⑯	教師のいじめ問題の報道について信じられない。
⑰	市の広報について、昨年までは1カ月2回だったが、今年度から15日号が地域版から全体版になった。広報は1カ月1回でいいのではないか。
⑱	内水面の処理について、東山地域には3つの沢がある。砂鉄川が増水すると水門が閉まる。台風19号では、国土交通省のポンプ車がきた。水門が閉まるとちょっとした雨でもすぐに水位が上がり心配だ。
⑲	松川地区の内水処理を何とかしてほしい。
⑳	国民健康保険税が高い。
㉑	高校、短大との懇談会をしているとのことだが、若い方が環境問題で不安を抱えている。
㉒	野平自治会、石灰石を運ぶダンプのホコリに困っている。すぐに真っ白になってしまう。
㉓	野平地区の堤防について、3年前の台風10号でえぐられた所があった。昔の基準のままになっているのではないかと心配である。治水対策をしっかりとしてほしい。
㉔	ILCについて、夢のような話ばかりしているが、デメリットについてもきちんと情報発信してほしい。
㉕	災害、犯罪が防犯カメラによって解決されたというケースがある。市では防犯カメラを保有しているのか。安心、安全という面では効果があるのではないか。
㉖	過疎化の問題が心配である。合併した後も一関市は人口が減っている。水害の後、店舗もなくなり、空き家がふえ、どんどん人口が減った。
㉗	地域に産業があって、若い人の雇用があればいいのではないか。
㉘	粉塵、水害は全くそのとおりだと思う。粉塵対策会議をして、鉱山の確認をしている。若干の解決はあるが、企業側と地域住民とで協議を行った。支所の方にも報告したが、市長まで伝わっているのか不明瞭であった。自治会でできることは限界である。調整の時はお力を借りたい。
㉙	先日の台風19号は、防災手順を皆様にお渡ししたところだったので、区長や自治会長には何か情報を伝えられるツールが必要ではないか。次の日に被害の調査をしようと思ったがしなかった。
㉚	松川8区は、23戸あったものが14戸になって、少子高齢化になっている。理由としては、NEC、千厩ソニー、北上製紙の撤退、廃止などがある。子供たちがいなくなり、人口減少を食い止める策を考えてほしい。
㉛	一関市で企業誘致をどのように考えているのか。
㉜	税金をゼロにする特区をつくる。
㉝	都会でリタイアした高齢者が地方移住をするプロジェクトはいい。
㉞	砂鉄川でごみがなければもっと流れるのではないか。
㉟	避難場所として、松川市民センターは地震の時はいいが、水害の時はだめである。
㊱	合併から6年間公民館管理をしていた。以前は利用人数が約10,000人もいたが、現在は指定管理となり利用者が少なくなった。市では指定管理を推進しているが、指定管理を受けていない公民館の状況はどうなっているのか。
㊲	内水処理について、排水ポンプを置いたが、十分とは言えない。
㊳	懇談会で出された要望に対する回答がなく、どのようになっているのか不明である。以前に問い合わせをしたところ、議員(前回の班長)より、議員は執行者ではないので、要望があれば個人、自治会を通して、直接、支所へ要望していただきたいと回答があった。市議会議員の役割は何なのか疑問に感じた。

市民と議員の懇談会提言事項(一般市民)

- ③⑨ 議会だより 56号P 28「各種の事業は市の総合計画や実施計画を踏まえ、財政の範囲内で実施する手順であり、今回のような懇談会の意見等を踏まえて当局に提言等を行っている。」とあるが、要望があった時に、個人、自治会を通して、直接、支所へ要望するのであれば、市民と議員の懇談会は必要がないのではないか。
- ④⑩ 議会だより 57号P 26「懇談会での要望、意見は全て当局等へ伝えており、当局への提言や関係機関への要望を行っている。」とあるが、提言や要望だけで、回答をしなければ不十分ではないか。
- ④⑪ 今後は懇談会ではなく、今までの懇談会で出された要望に対して、回答する意味での報告会を実施してはどうか。
- ④⑫ 粉塵の問題について、自治会と企業で粉塵対策会議をしている。案内の準備から会議後の議事録まで作成している。議事録を支所へも提出しているが、市長まで届いていない。市道の問題であるので、もっと支所が積極的に関わっていただきたい。
- ④⑬ 東山小学校の停留所について、防風囲を設置してほしい。この付近は、田んぼ、歩道、民家しかなく、トラックの走行や、風、雨、雪の時に風圧が凄い。子供達の親から防風囲設置の要望がある。要望だけではなく回答もいただきたい。
- ④⑭ 三菱マテリアルのベルトコンベアがある付近で、岩山が崩れそうになっている。落石保護策もあるが切れていて危ない。春先は、さらに危ない。落石防止対策をするのか、岩を切るとか、対策をしてほしい。
- ④⑮ 来年、議会改革の懇談会があると思うが、議員定数 30 名は多いと思うので減らしていただきたい。

室根曲ろくふれあいセンター 10月24日 参加人数 12名(4班)

- ① 以前に石垣工事で発生した余剰土を庭に置かせていたが、撤去したいと思いき市役所に問い合わせたが、約 30 年前のことでもあり対応してくれない。期間も制度も変わっているとのことだが、何とかしてほしい。
- ② 災害が多くなってきている。千厩川などの整備強化に対しても土木技術者をふやしてほしい。
- ③ 道路用地の未登記の対策を早急をお願いしたい。
- ④ 学校などで共有する衣服を各家庭で洗濯しているが、洗剤のにおいがきつくて困っている。アレルギーの子供などもいるので対応してほしい。また食育の立場からも子供たちのために取り組んでほしい。
- ⑤ 室根山参道の踏切付近で水害が発生している。建設課に話しても対応してくれない。
- ⑥ 河川管理者はパトロールをしていないのでは、休みも多いのではないかと。以前は千厩土木センターに直接言えば対応してくれたが、県南振興センターになってから対応も遅いので、改善を強く要望する。
- ⑦ バスが足りない。
- ⑧ 室根バイパスには横断歩道も信号もないので危険。また側面は雑草が生い茂っている。交通安全に考慮してほしい。
- ⑨ 市役所職員が住民の声を聞いていないのではないかと。
- ⑩ 高齢者のためのトレーニング施設やトレーナーがいれば良いと思うので検討してほしい。
- ⑪ 市議会議員は、PCやタブレットをもっと活用すべきだ。
- ⑫ ILCに反対。六ヶ所村の時から反対活動をしてきた。研究が終わったらトンネルに放射能汚染物が集まるのではないかと不安に思う。
- ⑬ 水道管の老朽化など最優先課題に取り組むべきだ。
- ⑭ ILCも大事かもしれないが、危険なものだと知った。市長はなぜ自分が理解していないことを小・中学生によいことばかり言っているのか。今の議員は任期があって今後 ILC 誘致が決定したとして 100 年後、200 年後の未来に責任が取れるのか。ILC をしっかり把握したうえで住民投票などを実施すべきだ。
- ⑮ ILC より地域課題が大事、病院もないし住みにくい。
- ⑯ 懇談会会場はチラシだけでは分からない、地図とかあれば行きやすい。
- ⑰ ILC は今後、どのように決定されていくのか心配。
- ⑱ 道徳教育を国をあげて進めてほしい。

川崎市民センター 10月24日 参加人数 16名(2班)

- ① テレビ共同受信施設組合の「アンテナ動産保険料」半額補助の要望とその交付規則の改定の要望。

市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(一般市民)

- ② 市の防災システムの考え方に疑問を感じている。
FMあすも専用ラジオの電源を入れているかアンケート調査をすべきではないか。
- ③ 緊急時の情報伝達が、FMあすもだけでは不十分であると考える。
行政放送無線か戸別受信機が必要ではないか。
- ④ マストだけでは、伝達が不十分ではないか。
- ⑤ 市広報地域版は行事の報告が多いので改善したらいいのではないか。
- ⑥ 砂鉄川、北上川の堤防をさらにかさ上げしてほしい。
- ⑦ 地域の砂防ダムは満杯状態だ。
山の杉林では保安林の役目が果たせるか不安だ。
- ⑧ テレビを共同アンテナで受信して視聴している。
三嶋山から電波中継しているが、非常用電源がないので整備してほしい。
- ⑨ 千厩斎苑の男子トイレの鏡が傷んでいる。
- ⑩ 県道一関舞川線の横石鉄橋付近の改修をしてほしい。
- ⑪ 県立磐井病院に眼科医の常勤医師を配置するように県に要望してほしい。
- ⑫ 合併して行政サービスが低下している。
地域を知ることが重要であることから、人事異動は、地元の人を配置してほしい。
- ⑬ 災害のときに、国道 284 号線が冠水したが道路に標示がなかった。水門が閉じたかどうかの情報も伝達されなかった。以前は、北上川の水位が伝達されていた。
- ⑭ I L C の進捗状況はどうなっているのか。実現の可能性はあるのか。I L C の経済効果に期待したい。
- ⑮ N E C 跡地の購入はあるのか。
- ⑯ 川崎保育所では、4名の保育士が産休のため入所希望があっても受け入れない。保育士の配置を充実してほしい。
- ⑰ 空き家がふえているが、地域の環境整備だけでは困難になってきている。対策を講じてほしい。
- ⑱ 一関市では、企業が撤退しているが、他市は企業誘致に成功している。その違いは何か。
- ⑲ 千厩高校の野球グラウンドがなく、市営千厩球場を使用している。
野球専用グラウンドの整備を早期に県に要望してほしい。

藤沢市民センター 10月18日 参加人数 12名 (1班)

- ① バスが廃止になったらどうなるのか。
- ② 市内に待機高齢者が 500 人ほどいるが、今後どうしていくのか。
- ③ 水が上がらないように堤防の改修をしてほしい。
- ④ 台風 19 号で避難指示が出たが、避難状況はどうだったのか。
- ⑤ 盛岡市内には「でんでんむし」という 100 円で乗れるバスがある。一関市にもやってほしい。
- ⑥ 支所の職員が多い地域は、市道の管理や除雪もこまめに行っているが、少ないところは自治会がやることが多い。不公平を感じる。職員をローテーションして、各支所を回るようにできないか。
- ⑦ 藤沢病院の存続問題をどう考えて対処していくのか。眼科など、医師がいない科もある。
- ⑧ 中山間地域は今後どうなるのか。
- ⑨ 避難所をできるだけ地域内に設けてほしい。
- ⑩ I L C 建設後の見通しが見えない。一般市民にわかりやすい説明をしてほしい。
- ⑪ 過疎債は、過疎地域のために重点的に使ってほしい。
- ⑫ 議案の議決の際に、「議案第〇号」と言っているが、「議案第〇号〇〇〇について」と言ったらわかりやすいのではないか。
- ⑬ 会派の位置づけがよくわからない。
- ⑭ 人口減少にどう対応していくのか。外国人の受け入れが急務ではないか。ベトナムと姉妹都市を結んだらよいのではないか。
- ⑮ 一関市は観光資源が豊富にあるのに、十分に生かしきれていない。観光客を呼び込む方法を根本的に考え直したらどうか。人口増にもつながるのではないか。
- ⑯ 子供や友達がいじめにあっていないことを教育委員会に報告したが、教育委員会は解決策を示してくれない。

市民と議員の懇談会提言事項(各種団体)

一関市消防団 11月7日 参加人数 15名 (総務常任委員会)

- ① 台風19号で吸川の水位が相当上がった。危険水域をたびたび超えている。吸川のポンプ能力は問題。銅谷川は常設ポンプがない。床上浸水があった。排水用の常設ポンプの設置を働きかけてほしい、稼働も早目にできるように運用してほしい。
- ② 消防団員は減少しているが、定数は合併時のままとなっている。団員募集強化月間で声掛けしているが減るほうが多い。春の区長会議に出席し、声掛けをお願いしている。一般の方では近くに屯所があっても操作できない。警戒の呼びかけなど歩かなければならず、団員の確保が問題となっている。
- ③ 旧藤沢町では、役場に入った職員は99%が団員になった。一関市ではそうではないようだ。新職員は地元消防団に入って地域をしっかり見て、経験してほしい。
- ④ 団員の訓練不足があるように思う。訓練参加に予算が絡み困難と言われる。合併してから、出初め式などの参加が代表制となってしまった。機材、器具を使った訓練ができないのが現状だ。訓練分の予算がほしい。合併後は訓練を見ている団員も少ない。市全体としての訓練も必要。幹部として訓練もさせられないのは申しわけなく思う。
- ⑤ 屯所等は新しくなったが、地域格差がある。1棟ずつではなく多目に措置をしてほしい。屯所から消防車を出してブルーシートを敷いて会議をしているところもある。寒い時期は大変だ。
- ⑥ 車の免許について、平成29年3月から準中型ができ普通車免許では2トン車は運転できない。運転免許取得の補助金があればいいと思う。山梨県富士川町では補助を実施している。団員がいても運転できない状況になる。オートマ車限定免許ではマニュアル車は運転できない。オートマ車限定免許解除には10万から20万円かかる。
- ⑦ ホースの乾燥塔が老朽化している。団員も高齢化しており、団員の安全面からも更新してほしい。
- ⑧ 避難は自分でやってほしいと思う。夜間に保護活動の出動命令が出るが、明るいうちに行うようにしてほしい。自主避難には避難所がない。
- ⑨ 備品の経年劣化、特にホースは6年から7年で使用不可となる。支給見直しを検討してほしい。事業への協力や学生の消防団加入をお願いしているが、将来を見据えて小中学校教育で消防ボランティアの話をするなどで加入促進を図ってほしい。
- ⑩ サラリーマン団員が多いため、退団理由に転勤がある。宝を捨てる思いだ。サラリーマン団員が活動できる状況をつくってほしい。
- ⑪ 防災マストの声が届かない。災害時に聞こえない。FMあすものスイッチを24時間入れているところはない。マストの見直しをしてほしい。
- ⑫ 避難指示が聞こえないため、団員が広報活動をしないといけない。最低でも聞こえる状態はつくっておかなければならない。
- ⑬ 高齢者に避難の声掛けをしたところ、大丈夫ということで断られたことがある。
- ⑭ 消防団員の加入が少ない。退団希望者が出た場合補充できない。消防団だけの自助努力だけでは何ともならない。会社の理解を得て、加入促進できないか。年齢も重ね動きも鈍くなってくると思う。
- ⑮ 台風19号について、担当地区の団員で確認したが足がないので避難できないと言われたので、消防車で避難所へ6人運んだ。避難所で帰りの対応を尋ねたが送ることはできないと言われた。そこまで考えていないのか。
- ⑯ 屯所がなくなる地域で話し合いをしたが、区長さん方も地域に何人団員がいるのが把握していなかった。
- ⑰ 要支援者は誰か、誰も知らないことが多かった。
- ⑱ 長野県千曲川の氾濫について、川に狭隘部があり一関市と似ていると感じた。内陸に今回の沿岸と同程度の雨が降れば、長野県並みの災害になるのではないかと。

起業者・新規就農者 11月20日 参加人数 10名 (産業経済常任委員会)

- ① トマトの栽培を目指しているが、農地を確保しようとしても借りるのが難しい。ある程度広い面積の農地で就農したいが、農地を借りるのに困っている。
- ② 希望する農地が見つからない。農業をやりたい若者がいるのに、農地の情報が足りない。情報が必要だ。
- ③ 就農者に対しての助成金を手厚くしてほしい。

市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(各種団体)

- ④ 人を雇いたい、農業をしたい方を探すのが難しい。アプリなどを活用して雇う側と雇われる側のマッチングをしてほしい。
- ⑤ 産地の技術のおかげでよい品質の野菜が作れたことに感謝している。
- ⑥ 移住者やI・Uターン者に農地を貸す仕組みが必要だと思う。
- ⑦ 協力隊で経験したことで、一般の就農者よりは苦労は少なかった。
- ⑧ 羊を飼いたい、セシウムの問題があり難しいと感じている。
- ⑨ 財産放棄の土地を活用できる制度がほしい。
- ⑩ よい土地ほど貸してくれない。また将来ILCなどの施設建設を期待しているなどの理由から農地を貸してもらえない。
- ⑪ 最終的に土地の購入と言われるが、そこまでは考えていない。
- ⑫ 農地はたくさんあることはわかるが、情報がない。また離れている農地をいくつも借りるのは管理が大変になるのでまとまった土地を借りたい。
- ⑬ IoT農業やテクノロジーに詳しい企業などと一緒に次世代農業に活用できる仕組みの構築が必要と感じている。
- ⑭ 移住者やI・Uターン者に対して、他県または他市に比べ手当てがない。
- ⑮ 以前、移住者より地元の方を優先に住む場所を紹介していると感じた。
- ⑯ 働く場所や住む場所がないと移住できない。移住者を取り込む仕組みが必要だ。
- ⑰ 5年前にカフェをオープンした。最初は地域の農産物も売っていたが、難しくなっている。店に野菜を置くとお客様は喜んでくれるが経営が成り立たない。マルシェなどのイベント時には、人件費などの補助があればいいと感じる。
- ⑱ 新大町の空き店舗を利用して店を出したいと思っている。水まわりの改修も空き店舗対策事業の対象にしてほしい。
- ⑲ 前のオーナーから事業を引き継いで経営している。当時起業塾を受けたが一緒に塾で学んだ仲間が今はほとんどいない。事業の継続支援を願う。
- ⑳ 障がい者の雇用を促し働く場所を提供する仕組みが必要だと思う。
- ㉑ JR一関駅前に店を構えているが、地元の客が来ない。理由としては駐車場がない。
- ㉒ JR一関駅に下車した観光客から、駅前に見るところがないと言われる。
- ㉓ 空き店舗ばかりで一関市は大丈夫かと言われる。
- ㉔ 空き店舗の利用者の思いと、店舗主の考え方がそもそも違うと感じる。
- ㉕ 観光業は今後重要だと考えている。また外国人も地方を重視していることから一関市も観光業に力を入れてほしい。
- ㉖ 一関市は平泉町中尊寺に近く、狛鼻溪を有しているのに全国平均から見ると観光客数が伸びていない。国策の中でインバウンドを重点に取り組んでいる今がチャンスではないか。
- ㉗ 観光地行きのバスの時間がネット上に表記されていないため観光客がむだに時間を使っている。または他の観光地に行ってしまう。インターネットをもっと活用するべきではないか。
- ㉘ JR狛鼻溪駅は階段が急なので重いバッグを持った観光客には不便だ。
- ㉙ 観光客は食を楽しむ。農家とのつながりをもっとオープンにできる交流の場を設けてほしい。
- ㉚ JR千厩駅前にカフェがほしいと思い、試験的に活動したが試験が終わると満足感があつた。本来カフェをやりたいのではなくイベント的な活動をしたかったのだと思った。
- ㉛ 市内の駅にSUICAの設備がなく不便だ。
- ㉜ JR一関駅前付近は、新しい人の受け入れを認めていないのか、空き店舗はあるが貸してくれない。
- ㉝ いろいろな事業の方と交流ができる機会をつくってほしい。
- ㉞ 大型施設はいいがどこへ行っても同じ。一関市ならではの特色が重要だ。
- ㉟ 一関市は情報発信が上手くないのではないか。
- ㊱ 商業地もないので遊ぶ場所がほしい。
- ㊲ 一関市立図書館はデザインも含め素晴らしいのでアプリなどに反映できればいいと思うが行政がつくと使いづらいものになるので、業者にお願いしてみるのもいいと思う。

市民と議員の懇談会提言事項(各種団体)

⑳ 狛鼻溪としてのコンテンツはよいものだが、景観に魅力がないため、実際に行こうとは思わない。魅力的な景観づくりが必要だ。

岩手県建設業協会一関支部・千厩支部 10月16日 参加人数16名(建設常任委員会)

- ① 平成12年をピークに公共投資が削減されていることから、職員数も機械も減ってきている。東日本大震災以降人手、特に技術職員が不足している状況で苦労している。
- ② 除雪の委託も手いっぱい状況にある。
- ③ 作業員が不足していて、仕事を取りたくても取れない。工事の需要が減ったことから、人員募集をかけることができなかった。そのため、65歳以上の職員が25%、55歳以上が半分を占めている。若い人が入ってこないことが一番の懸念材料である。
- ④ 年々災害規模が大きくなってきていて、今度大きな災害が来たときに対応できるか不安である。
- ⑤ 除雪も熟練オペレーターがいなくなっている。練習する場もない。今、保有している機械が壊れた場合、新しい機械を買ってまで対応はできない。
- ⑥ 入札については、特に今までどおりで問題ないが、公共事業の件数をふやしてほしい。一関地域は下水道事業もあって公共工事もあるけれども、川崎地域など1件もない。
- ⑦ 市役所でも配慮して、門口を直すような小さい仕事は結構あるけれども、C級にしか行きわたらない。A級は年間五、六件。千厩支部でもA級の会社は12社ある。B級もほぼない。
- ⑧ 時々大きい工事が来ても、下請け業者が見つからない。技術者も少ない、労働者も少ない。下請け業者が見つからないと工期内に間に合わない。大きな仕事があると、既に受けている民間の工事が手をつけられなくなるため、入札が出てても参加できない。
- ⑨ 業者を育成していくためには、コンスタントに仕事を出してもらって、公共工事オンリーでも暮らしていけるような状況でないと、業者が育たない。
- ⑩ 室根地域は、道の駅の関係で予算がつかないと聞いている。ここ、二、三年工事がないので、そろそろ出してほしい。
- ⑪ 入札については総合評価の話も出ているが、ある程度の件数が出ないと経験が積めない。岩手県で経験年数が15年以上と言われても件数がない。そこを改善しないと、総合評価はなじまないと思う。
- ⑫ 圃場整備などの仕事がここ10年ぐらいなかったのが、一気に出てきたが、あまりにも立地条件が悪くて対応できない。遊水地のようなところを整備するのならいいけれども、田んぼをつくるために、10メートルものり面をつくるような工事では大赤字になる。そういったところも考えてほしい。
- ⑬ 市役所職員の技術者が減ってきている。事務職が多いため、積算や測量も業者任せとなっている。技術者もきちんと育ててほしい。特に支所の技術者は課長職しかいないように見える。
- ⑭ 支所の機能が縮小しているため災害対応ができない。地元出身の職員も少ないので、地名を言っても伝わらない。東地域は千厩支所に集約するという話もあるけれども、災害の際に千厩支所の職員が全部見て回ることができるのか不安である。
- ⑮ 除雪について、市の委託では割に合わない気がする。県の場合は、自社で持っているグレーダーなどの機械に対して、リース代のように毎月支払ってくれる。市では、そういったものは出ない。県では、12月から2月までの期間を拘束期間として、1日1万円ぐらい支給してくれる。そうすると、年間で90万円から100万円近くになり車検代にもなる。そういったところも考慮してほしい。
- ⑯ 雪が10センチメートル以上積もると除雪の対象となるが、どのくらい降ったかは連絡員が確認している。県はその人件費も見てくれるが、市は無償である。そのあたりも見てほしい。
- ⑰ 以前は、市役所の直営で除雪を実施していた。直営だと費用がかかるから、民間へ委託するというのはおかしい。直営で実施してみてもどれくらい費用がかかるか体験してほしい。
- ⑱ 除雪をすると門口に雪がたまって、住民の方から苦情を受ける。門口のところは自分でやるという意識づけを行政で指導してほしい。
- ㉑ 早く雪かきをしろという苦情が市役所に届くとすぐに自分たち業者に連絡がくる。オペレーターなどの中には2日ぐら寝ないで対応している人もいる。せめて、苦情を受け付ける際に、そのあたりも説明するなどの対応してほしい。やりたくて除雪を引き受けている業者など一つもない。

市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(各種団体)

- ⑳ 建設業の育成の観点から、建設業の育成には、毎年どの程度の規模の工事が必要なのか議員の方には考えてほしい。行政にその予算を確保してもらうように働きかけていただくのが一番である。魅力ある建設業をつくらないと未来はない。
- ㉑ 災害協定を結んでおり、災害が発生すれば真っ先に対応している。しかし、マスコミなどでは、自衛隊や消防、警察ばかりが報道され、災害で必死に対応していることが伝わらない。市の広報などでも地元の建設業ががんばっている姿を伝えてほしい。
- ㉒ 岩手県の場合だが、職員の若返りが激しく技術者が育っていない。全く現場を見ないで図面だけで対応しようとするので、きちんと育成してほしい。
- ㉓ 建設業協会では「給料が高い、休日がある、希望がある」ということで、新3Kというように取り組んでいる。若い人が入ってくるためには、そうでなくてはならないがなかなか難しい。
- ㉔ 外国人材の確保については、現実的には難しい。言葉の関係や寮の関係もあり、中小企業では手が出ない。

両磐ブロック高齢者福祉協議会 11月18日 参加人数12名(教育民生常任委員会)

- ① 築40年以上が経過して施設が老朽化しているが、施設整備が困難である。
- ② 最近は高齢者のみではなく、岩手県立南光病院からいろいろな理由で、自宅退院ができない精神障害者の方も入所するようになった。
- ③ 精神障害者へのケアには専門的対応が必要であるが専門職が不在である。
- ④ 精神障害者と高齢者の間でトラブルが発生することもある。
- ⑤ 精神障害者が病院退院後、ケアできる対応が必要ではないか。
- ⑥ 年4回入所検討委員会が開催され、措置により精神障害者が岩手県立南光病院より入所するケースが多くなっている。
- ⑦ 長期入院から入所してくる精神障害の利用者と自宅から入所してくる認知症の利用者とでは、社会性が異なるため人間関係が難しい。
- ⑧ 建物はまだ20年程度ではあるが、修繕が必要であり運営が大変である。
- ⑨ 建物は平成13年築で老朽化している。
- ⑩ 職員の人材不足が問題と認識している。
- ⑪ ハローワークに求人を出しているが、就職者が少ない。
- ⑫ 人材不足によって受け入れを休止した部署もある。休止したことによって入所者も減少した。
- ⑬ ハローワークに求人を出しても半年以上も就職者がいない。特に看護師の求人は厳しい。
- ⑭ 医療職だけではなく、調理師も不足している。
- ⑮ 国の制度で介護職員の処遇が優遇されたため、ケアマネージャーのなり手が少なくなった。
- ⑯ ケアマネージャーのなり手も不足している。
- ⑰ 介護職員、看護師の人材不足が問題だと感じる。
- ⑱ 紹介会社、ハローワークに求人を出して応募がない。
- ⑲ 就職しても1カ月から2カ月程度で辞めてしまう。
- ⑳ 外国人労働者の雇用には、1名に年間300万円もかかり、日本人よりもお金がかかる。
- ㉑ 課題は人材不足である。
- ㉒ 看護師基準が2名であるが、現状は1名しかいない。
- ㉓ ハローワークに求人を出しても反応がない。
- ㉔ 市の人材育成事業において1名を育成している。
- ㉕ 研修は施設があっても運営ができない。
- ㉖ デイサービスセンターは単価が安いと思う。
- ㉗ 川崎地域は議員がいないため相談できない。
- ㉘ 現在、施設はふえたが、職員は減っている。
- ㉙ 職員80名の構成は、50才以上40名、50才未満40名である。
- ㉚ 女性職員が産休から復職をしたくても保育所の空きがなく復職できない。
- ㉛ 台風19号時に避難指示が出て臨時避難所になった。災害時は正確な情報がほしい。
- ㉜ 職員の高齢化が問題となっているため、若い人材があるといい。

市民と議員の懇談会提言事項(各種団体)

- ③ ハローワークに求人を出しても応募がない。
- ④ 求人「60才以上歓迎」と掲載すると、高齢者が応募する。
- ⑤ 就職説明会に参加する高校生が少ない。
- ⑥ 評議委員会において人材不足を協議しているが、今後よくなるとは考えられない。
- ⑦ 夜勤がある看護師、介護職員の人材確保が難しい。
- ⑧ 老人保健施設においても人員不足である。
- ⑨ 仕事を辞める理由は、仕事、人間関係によるストレスが多い。
- ⑩ 職員のストレスマネジメントの方法について悩んでいる。
- ⑪ 施設は20年以上経過して修繕が必要であるが、運営が厳しい。
- ⑫ 運営は介護報酬だけでは難しい。
- ⑬ 介護報酬が上がっても、職員の報酬も上がっている。
- ⑭ 医療事業者だけではなく、調理師も人員不足になっている。
- ⑮ ハローワークはあてにならない。
- ⑯ 契約社員は短期で辞めて他の施設に異動して、また短期で辞めて異動を繰り返している。
- ⑰ 水害、地震は、いつ、どこで発生するかわからない。
- ⑱ 防災マップを作成しているが、高齢者、障がい者などの災害訓練が必要である。
- ⑲ 県立高等看護学校から実習にくるが、地元に残る人は少ない。
- ⑳ デイサービスで在宅を訪問すると、一人暮らし、認知症の方が多くなっている。
- ㉑ 施設に入所できた人は、在宅よりもましである。
- ㉒ 問題点は人材不足、60才以上の職員が5名いる。
- ㉓ 資格取得者はヘルパー2級であり、介護福祉士の有資格者は少ない。
- ㉔ 千厩ソーニー、NEC、北上製紙、アツギ、と企業の閉鎖が続いている。
- ㉕ 岩手県立大東高校の情報化の卒業生は、北上市の三菱メモリアルに就職している。
- ㉖ 市内に働く場所がない、ILCに期待するよりも企業誘致をしてほしい。
- ㉗ 課題は人材不足、看護師3名中、70才以上は2名である。
- ㉘ 介護職員は18名、社会福祉士も半分いる。
- ㉙ 福祉に対する考え方の違いで辞めていく人が多い。
- ㉚ 派遣職員は半年で辞めていくので当てにしていない。
- ㉛ 福祉の仕事は報酬だけではなく、行政の指導がほしい。

市民と議員の懇談会提言事項(高等学校・短期大学)

一関第一高等学校 10月8日 参加人数7名(2班)

- ① NEC工場跡地について、運動公園が学校から遠いため、また、JR一ノ関駅東口周辺に運動する場所がないので、運動公園的なものをつくれなからか。
- ② 多くの学生が大学等に進学する。地元で就職先がないためUターンできない。市で取り組んでいるUターンして起業する支援策はあるのか。
- ③ 新しい受験制度において、民間が行っているさまざまな英語検定制度が導入予定であるが、地方の学生にとっては受験が困難であるだけでなく、検定料も高い。金ケ崎町では英語検定制度に対して一部補助を行っているが、一関市でも導入できないか。
- ④ 自転車通学の際、朝交通量が多く非常に危険だ。特に、小学生の集団登校とのすれ違いが危険なので、歩道の整備を進めてほしい。
- ⑤ 山目地区(ファーマーズ付近)の通学路の街灯が暗いので対策をしてほしい。
- ⑥ なのはなプラザを学習や交流場所として利用しているが、スペースが少ない。2階は解放できないか。
- ⑦ 少子化に対する市の対応策は。

花泉高等学校 10月16日 参加人数11名(3班)

- ① 一関地域のなのはなプラザのような学習スペースを花泉地域にもつくってほしい。図書館から離れたところに住んでいる人が使えたり、飲食しながら勉強できる場所がほしい。
- ② 夏の暑い日は教室の窓を開けているが、虫などがくるので網戸を付けてほしい。

市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(高等学校・短期大学)

- ③ 日が落ちるのが早い時期は、街灯がなくて暗い。
- ④ カーブミラーが折れてさびているので修理してほしい。
- ⑤ 萩荘地区の運動公園近くの曲がり角に白線がなくて危険だ。
- ⑥ 羽生田踏切の遮断機が早い。
- ⑦ 十字路の手前に「止まれ」の看板がなくて危険だ。
- ⑧ 看護師、保育士になりたいが、一関市の育成現状はどうなっているのか。
- ⑨ 中学3年生の時に一関市と姉妹都市であるオーストラリアへ行った。今後も海外との姉妹都市をふやしてほしい。
- ⑩ 手話サークルに通っているが、障がい者と交流できる機会をふやしたほうがよいのではないか。
- ⑪ 子育て支援に力を入れている人に投票したい。
- ⑫ 地域の悩みを聞いて解決してくれる政治家がよい。
- ⑬ 父と政治の話をするのがあったが、自分は難しく判断できない。
- ⑭ 花泉高校独自の行事を行ったら、花泉高校に来るのではないか。
- ⑮ 中学生の時から高校生との交流をするとよいのではないか。
- ⑯ 高齢者と接している。
- ⑰ もちサミットを拡大してほしい。
- ⑱ のど自慢を開催してはどうか。
- ⑲ 海外の学生と交流したらどうか。

大東高等学校 10月10日 参加人数20名(1班)

- ① 子供が多くいる家庭は医療費などを無料にしたり、インフルエンザ予防接種を無料にしてはどうか。
- ② 部活動に、伝統芸能の「ししおどり部」があるが、物品の傷みが激しい。予算が少なく道具を修理できない。用具の購入補助はないか。
- ③ 以前は、小原書店付近の十字路に歩行者用信号機があったが、今はない。横断するのに危険なので、信号機を設置してほしい。
- ④ 川崎の花火大会の会場になっている北上川に砂がたまって水中花火ができない状況になっている。砂の撤去をお願いしたい。
- ⑤ 駅コミュニティセンターや図書館に学習スペースがあるが、おしゃべり目的の利用もあるので、学習専用スペースを通学路周辺につくってほしい。
- ⑥ 高齢者のみの世帯がふえている。災害のときの対応はどうするのか。
- ⑦ 介護士不足により、高齢者への介護が十分に行きわたっていないのではないか。
- ⑧ 地域の清掃活動を行っているが学校から出すごみは事業所扱いで回収にお金がかかり、今後活動を続けられない。
- ⑨ 乙女坂の街灯をふやしてほしい。冬は特に暗くて危険。
- ⑩ 小原書店近くの踏切で歩道が途切れていて危険。車道も狭いので歩行者にとっても危険なので対策をしてほしい。
- ⑪ 利用者が少ないのに大型バスが走っている。非効率なので、小型にして本数をふやしてほしい。

千厩高等学校 11月15日 参加人数7名(2班)

- ① スーパーにごみ箱が設置されている。店内のごみ箱は分別されているが、店外のごみ箱は分別されていない。分別、リサイクルの観点からもわかりやすく表示されていればよいと思う。
- ② 千厩高校からJR千厩駅に行くとき、JAのガソリンスタンドから通ると暗いので外灯がほしい。
- ③ 千厩高校の通学路について、台風の際に河川が氾濫し、公道に土砂が堆積し、雨が降ると歩きづらいうち車も運転しづらく遠回りしていた。1カ月くらいたってもまだ土砂があった。
- ④ 磐清水小学校が閉校し、小学生も千厩小学校へスクールバスでの通学となり、閉校前にあった通学時のおじいちゃんたちからの声掛けもなくなり、世代間交流がなくなったように感じる。世代間交流ができる機会があればよいと思う。
- ⑤ 室根地域に住んでいるが、統合で残っている閉校校舎がそのままなので、何かに活用できないか。
- ⑥ 空き校舎の校庭の使用について、もっと自由に使用できないか。

懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(高等学校・短期大学)

- ⑦ スポーツ施設があればいいのだが、市の多目的広場をもっと学校で活用することはできないか。
- ⑧ バスへのフリー乗降ができればいいと思う。
- ⑨ 千厩病院に行く坂に横断歩道もなく、飛び出しなどで危険なことがあった。信号機があったらいいと思う。
- ⑩ 使われていない旧小学校跡地の活用方法がなければ、地域で仕事ができる場などになるといい。
- ⑪ 千厩小学校の前の横断時の旗の数がバラバラで、旗がないときもある。小学生が使いたいときに使えないと危ないと思う。
- ⑫ 千厩高校の校内にテニスコートの設置を要望していたが、設置の方向であるが、照明については整備が進んでいないので、照明を設置してほしい。
- ⑬ 千厩高校の敷地に野球場を設置してほしい。
- ⑭ 千厩高校にはボランティアを中心とした委員会がある。昨年以上に活動を行っていききたい。
- ⑮ 千厩地域に娯楽施設が少ないため、遊びに行くのにも交通費がかかる。中心市街地のみではなく、身近にもカラオケなどの娯楽施設があればいい。
- ⑯ 県内に自分のやりたい仕事がない。

一関学院高等学校 10月3日 参加人数5名(1班)

- ① 夏、扇風機だけでは暑くて勉強に集中できないので、教室にエアコンを入れてほしい。
- ② クラブ活動などで帰り時間が遅く通学路が暗いので、街灯をふやしてほしい。
- ③ 試験期間はどこの高校も同じ時期なので、図書館はいつも満席になっている。学習スペースがほしい。
- ④ 県外の生徒も多いので、市で寮をつくってほしい。
- ⑤ もちサミットや地ビールなどのイベントが行われている。市内の高校生も集ってボランティアやイベントをやったらどうか。交流にもなるし、中学生へのPRにもなるのではないかと。
- ⑥ 通学路のごみ置き場がネットでかぶせてありカラスがごみを散らしている。ネットでないものにしてほしい。
- ⑦ 遊べる場所が少ないので、体を動かして遊ぶ場所がほしい。
- ⑧ 友達同士で気軽に集まる場所がほしい。
- ⑨ 部活帰りに寄れるように、土市を夜に開催してほしい。
- ⑩ イベントの開催がユードームで行われていて、商店街から遠いので、市街地中心でのイベントの開催をふやしてほしい。
- ⑪ 駅前の駐輪場に古い自転車がが多くあり、自転車がとめられない。

一関修紅高等学校 10月15日 参加人数4名(4班)

- ① 蔵美地区に住んでいるが、交通機関が限られていて不便だ。デマンドタクシーの情報はわからなかった。
- ② 真滝地区だが帰宅時の道路が暗く、さらに道が悪い。
- ③ 吸川付近や通学路など、街なかにごみが落ちている。
- ④ 通学路にカーブミラーが足りない。

修紅短期大学 10月8日 参加人数8名(3班)

- ① 過去の一関のイメージは地域活動が盛ん。駅があって栄えている。お店がある。山がある。人が多い。
- ② 今の一関のイメージは学校の近辺にコンビニが少ない。駅近くに店がない(イオンが遠い)。暮らしやすい。公園が少ない。道路がでこぼこしている。
- ③ 駅にピアノが置いてあるといい。
- ④ 一関市内は人がいるが、大東や千厩地域は空き家が多い。
- ⑤ 地域にも就職先をふやしてほしい。
- ⑥ 一関のイベントサポーターをしているが、情報が少ない。
- ⑦ 防災無線がよくわからない。
- ⑧ 今までなかった取り組みをしてほしい。
- ⑨ ソフトボールリーグのように人が集まる機会をもっとふやしてほしい。
- ⑩ 選挙に行ったが、違いがわからず選択が難しいと感じた。
- ⑪ 選挙公約をもう少しわかりやすくしてほしい。

市民と議員の懇談会報告

市民と議員の懇談会提言事項(高等学校・短期大学)

⑫	SNSで情報を発信してほしい。
⑬	若い世代にもわかりやすい公約がよい。
⑭	空き家に人が住めるようにしたらよい。
⑮	公共交通機関をもっとふやしてほしい。
⑯	バス料金をもっと安くしてほしい。
⑰	道路が狭い。
⑱	今は外で遊ぶ機会が少なくなっている。
⑲	信号機をもっとあったらよい。
⑳	街灯をもっとあったらよい。
㉑	現在の政策がわかりにくい。
㉒	子供が生まれたら100万円をもらえるような少子化対策はどうか。

たくさんのご意見等をいただきありがとうございました。
各会場でいただいたご意見は全て執行部や関係機関に提言や要望を行ってまいります。

また、各委員会等で調査、検討をしておりますが、議会は事業の執行者でないことのご理解をお願いします。



建設常任委員会

委員長 橋本 周一

建設常任委員会では、11月15日、台風19号による被害状況の現地調査を実施しました。

市内でも被害の大きかった3カ所について現地を確認しました。

最初に室根町津谷川地区の被災状況を調査しました。

津谷川地区では時間当たり最大雨量が42ミリを観測し、至るところで、のり面の崩落が見受けられました。

特にも、市道清水横沢川線ののり面崩落現場は、視察時には撤去されていたものの、道路まで流れ込んだ



市道清水横沢川線ののり面崩落現場



市道南沢下宇津野線ののり面崩落現場

土砂の跡が残っていました。

続いて、東山町田河津地区の市道野土工業団地線ののり面崩落状況を調査しました。建物への被害は免れていましたが、一刻も早い対策が必要であると思われました。

最後に、萩荘地区の市道南沢下宇津野線の現場を調査しました。

のり面を保護しているコンクリートごと崩落しており、復旧までに、相当な時間を要すると思われました。

これらの調査を踏まえて、委員会として検討、提言をしております。

議会運営委員会

委員長 勝浦 伸行

○議会改革の取り組み

一関市議会では、平成19年6月に他市に先駆けて「市議会基本条例」を制定し、議会の理念、議員の責務及び活動原則等を定めました。その後、一般質問における「一問一答方式」の導入、平成24年3月には「市議会議員定数等調査特別委員会」を設置し、議員定数を30人としました。また、平成28年には基本条例の改正を行い、反問権、議会報告会、市民懇談会を明記し、議会の役割を明確にする改革を進めてきました。

平成29年の改選後には、全国的に地方議会のなり手不足や町村議会の定数割れが大きく報道される中、人口減少時代の議会のあり方について、危機感を持ち取り組む必要があるとの認識から、議会運営委員会

○タブレット端末の導入

現在の社会動向として、キヤッシュレス・ペーパーレスをはじめとして、サテライトオフィスや人工知能・業務自動化・先端IT利活用など、大きく社会は変動しています。そのような中、議会においてもICT化を進める事により、より効率的で効果的な議会運営、議員活動を進めることが必要であり、リアルタイムでの情報収集や情報発信による開かれた議員活動が求められると認識し、昨年12月議会から、タブレット端末を導入し、その取り組みをスタートさせました。今後は、膨大な議会資料の参照や住民説明での活用、連絡体制の強化が図られることで、ペーパーレス化によるコスト削減に加え、議員活動においての大きな活用が見込まれています。



タブレット端末操作講習会

○先進地視察

議会運営委員会では、「議会改革」に関して、岐阜県可児市議会、愛知県小牧市議会、そして滝沢市議会に調査活動を行いました。視察先では、常任委員会を代表する議員による「委員会代表質問」や先進地で取り組みが進む「通年議会」に関する質疑が多くありました。視察先の取り組みや先進議会の取り組み状況を見る限り、「市議会基本条例」制定後の取り組みが一段落し、さらなる改革の第2ステージがスタートしている事を実感しました。今回の視察を踏まえ、議会運営委



岐阜県可児市での視察の様子

員会では今後の議会のあり方について、更なる検討を進めています。12月には、「市民と議員の懇談会」をより充実したものとするため、「ワークショップ方式」を導入するための勉強会を全議員、全事務局職員の「チーム議会」で開催しました。議会運営委員会が進めてきた議会改革につきまして、定数・報酬等も含め、結論を出す時期が迫っています。厳しい人口減少・少子高齢化時代を踏まえ、信頼される議会、そして議員の果たすべき役割をより明確にし、市民の皆さんに示していきたいと考えています。



市民の声

ご意見などをお寄せいただきま
したので、ご紹介いたします。

帰郷とこれからと



おの であら はるみ
小野寺 晴海さん
千厩町奥玉

今年四月、高校卒業以来十年ぶりに地元に戻りました。この十年の間に、町内の小学校は五校から一校に、中学校もクラスが減り、かつて家の周りにこだました子どもたちの声も聞こえず、過疎の波を感じ、何とも言えないもの悲しさを覚えます。

そんな今の状況だからこそ、行政には、帰郷者や移住者、そして若者への支援や投資を積極的に行ってほしい。福祉や介護への予算も年々増加していることと思いますが、明るい未来へ向けた攻めの一手を期待しています。



ワカモノ目線で未来創造



おやま みえこ
小山 恵栄子さん
室根町矢越

私は「室根と愉快な仲間たち」通称「室愉会」で活動をしています。室愉会は室根の課題解決のために、ワカモノ目線で活動している団体です。室根町内で「映画上映会」「ワカモノ交流」「食育・ポップコーン」などのイベントを開催しています。

室愉会で活動して4年になります。始めは手探りの会議でしたが、今では和気あいあいとイベントを企画・運営をしています。私自身、主催者側として活動した経験がなかったこともあり、戸惑った事がありました。今ではやりがいを感じています。これからは「室愉会」を通して、私たちの未来を創造していきたいです。

● 議会を傍聴しませんか ●

- ・ 3月定例会は2月中旬に開会予定です。詳しい日程などは議会事務局へお問い合わせください。
- ・ 傍聴席は60席です。車椅子での傍聴、聴覚補助のためのヘッドフォンも用意しております。
- ・ 定例会の様子は右記の媒体でもご覧いただけます。

12月定例会の傍聴者数 95人

スマートフォンやタブレット端末でも
ご覧いただけるようになりました。

- [生中継] 一関ケーブルテレビ、市ホームページ
- [録画] 市ホームページ
- [録音] FMあすも（一般質問のみ）



● ご意見・ご感想をお寄せください ●

議会だよりを読んで感じたことや、議会についてのご意見などをお待ちしています。議会だよりは市のホームページでご覧いただくこともできます。

一関市議会

検索

〒021-8501 一関市竹山町7番2号 議会事務局 (TEL21-8604 / FAX26-5556)

議会メールアドレス gikai@city.ichinoseki.iwate.jp

あともがき



三 玉堀山（鶴ヶ峯）「摺沢」地名発祥の地



摺沢の地名発祥の地

玉堀山たまほりやま（摺沢字南長者）

神龜3年（726年）3月1日、有力な郷人坂本宿禰は神のお告げにより1個の美玉を鶴ヶ峰に得て、国司大野東人に獻じ、東人は大いに喜び、この玉を地中に埋めて祠堂を建て、興玉大明神を祭ったと伝えられています。現在、千厩町奥玉の桜森神社に末社として存在しています。

この玉が産出した鶴ヶ峰は玉堀山と呼ばれるようになり、玉を摺り磨いた沢と

して摺沢という地名になったといわれています。

当時、玉堀山は奥玉村に属していましたが、安和年中（968年）安倍忠頼が摺沢に八町館を築き、戸数17戸で独立がなされたと伝えられています。

水晶の六角結晶は、大東小学校、大東中学校、大東高等学校の校章にもデザインされています。

【表紙解説】

「繭玉ならし」は団子を柳や水木の枝に刺す行事で、団子が蚕の繭の形をしているのは、養蚕を行う人々が蚕繭の豊作を祈願していた名残と言われます。

園児たちは、ふかしたばかりの餅米を頬張り、味を確かめた後で、地域のおじいさん、おばあさんたちの力を借りて、一杯、餅つきを行い、みんなで楽しく繭玉ならしをしました。

養蚕地帯では養蚕収入が家計の大きな支えで、その作柄の良し悪しは農家にとってもまさに死活問題でした。一見すると華やかで楽しい気なムードが漂う行事ですが、そこに込められた豊作への願いは今の私たちが想像する以上に切実なものだったのかも知れません。



あとがき

新年あけましておめでとうございます。

今年も、新元号令和になり初めての新年を迎えました。そして、60年に一度の「庚子（かのえね）」の年でもあり、変化にとんだ改革、時代の節目を感じさせる期待と不安が膨らむ一年を予感します。

現在、議会運営委員会が中心となり「市民に開かれた透明性のある議会」を目指し、議会改革に取り組んでおります。今号では、昨年の「市民と議員の懇談会」で出された意見等を集約した内容を掲載しました。

また、今年中には、議員定数・議員報酬・常任委員会の改変等を市民の皆さんに説明し意見交換する中から、議会改革の取り組みを進めてまいり所存です。

今後も、市民の立場に立った「見やすく「わかりやすい」議会報づく」りを心掛け、編集を行ってまいります。今年もよろしくお願いたします。

編集委員長 千葉信吉

議会報編集委員

- 委員長 千葉信吉
- 副委員長 小岩寿一
- 委員 岩淵典仁
- 委員 那須茂一郎
- 委員 門馬功
- 委員 佐藤久助
- 委員 佐藤敬一郎
- 委員 菅野恒信

印刷／合同会社藤